

決算説明会資料

株式会社山口フィナンシャルグループ

# 平成26年度中間決算の概要と グループ戦略について

平成26年12月1日

# 目次

## 1. 業績概要

平成26年度中間決算の概要(連結・3行単体合算)	1
山口銀行の平成26年度中間決算概要	2
もみじ銀行の平成26年度中間決算概要	3
北九州銀行の平成26年度中間決算概要	4
預貸金の状況	5
期中平均利回りの推移	6
有価証券残高・評価損益の状況	7
役務収益の推移	8
信用コストと不良債権の状況	9
自己資本比率の状況	10
経費の推移と見通し	11
平成27年3月期の業績予想	12
配当実績・計画	13
株価推移	14

## 2. グループ戦略

YMFGの軌跡	15
リレーション強化によるYMFGファンの増加	16
ソリューション提供による貸出資産の拡大	17
海外進出支援	18
地域活性化への取り組み	19
ソリューションビジネスへの転換	20

## 3. 資料編

業績推移(1)FG連結・3行合算	21
業績推移(2)各行単体	22
貸出金推移(末残)	23
預金推移(末残)	24
資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)	25
利回り・利鞘推移	26
債務者区分の遷移状況(H26年3月末⇒H26年9月末)	27
債務者区分の遷移状況(H25年9月末⇒H26年9月末)	28
リスク資本配賦	29
地区別経済概況(山口県)	30
地区別経済概況(広島県)	31
地区別経済概況(北九州)	32
地域経済概況(鉱工業生産・設備投資)	33
地域経済概況(住宅建築・雇用情勢)	34

# 1.業績概要

# 平成26年度中間決算の概要(連結・3行単体合算)

- ◆経費が4億円減少したものの、貸出金利回りの低下による資金利益の減少、役員取引等利益の減少等により、コア業務純益は前年同期比19億円減少。
- ◆貸倒引当金戻入益の減少もあり、過去最高益であった前年同期比較では24億円減少して中間純利益は134億円。

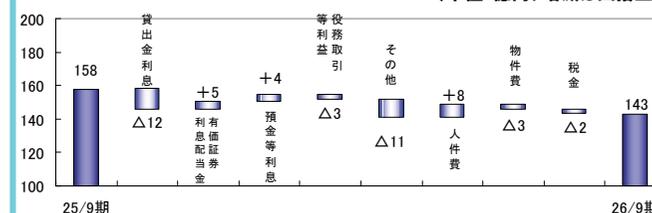
(億円)

	YMFG連結		3行合算				
		前年同期比		前年同期比	山口	もみじ	北九州
経常収益	749	△ 79	695	△ 42	△ 19	△ 24	0
コア業務粗利益	555	△ 23	527	△ 16	△ 2	△ 15	0
資金利益	469	△ 3	473	△ 3	6	△ 10	0
役員取引等利益	81	△ 6	60	△ 2	△ 2	△ 1	0
その他業務利益	43	16	43	30	27	3	△ 0
経費(△) (除く臨時処理分)	424	△ 4	383	△ 2	△ 2	△ 1	1
人件費(△)	-	-	166	△ 7	△ 6	△ 1	△ 0
物件費(△)	-	-	194	2	3	△ 1	1
コア業務純益	130	△ 19	143	△ 14	0	△ 13	△ 1
経常利益	210	△ 42	225	△ 24	△ 15	△ 18	8
中間純利益	134	△ 24	155	△ 8	△ 2	△ 12	6
与信関係費用	△ 26	11	△ 27	10	15	4	△ 9

※単位未満は切捨て表示。3行合算については3行単体の単純合算数値

## コア業務純益(3行合算)

(単位:億円、増減は四捨五入)



## 資金利益の内訳(3行合算)

(億円)

	26/9期	前年同期比
資金利益	473	△ 3
資金運用収益	513	△ 7
貸出金利利息	394	△ 12
有価証券利息	96	3
資金調達費用	39	△ 3
預金利息	33	△ 3

## 連単差

3行合算中間純利益	155億円
のれん償却費(もみじ銀行他)	△24億円
F G連結調整等	1億円
子銀行連結調整	1億円
YMFG連結中間純利益	134億円

※ もみじ銀行のれん償却は8年度目。平成28年度に償却終了。

# 山口銀行の平成26年度中間決算概要

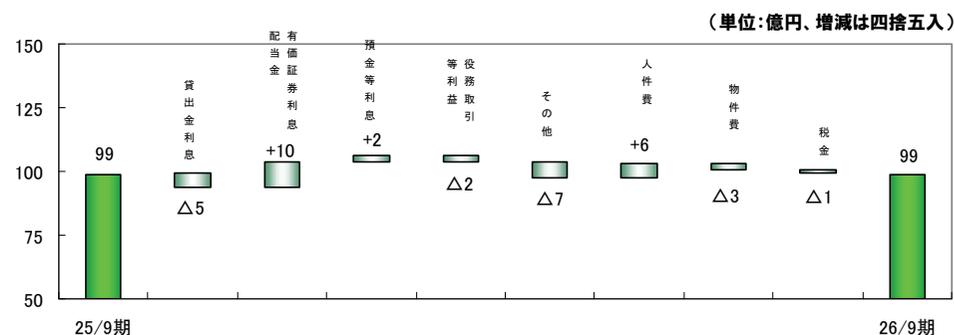
- ◆貸出金利息の減少幅が縮小し、資金利益は増加に反転。コア業務純益は前年同期比微増の99億円。
- ◆与信関係費用が増加(貸倒引当金戻入益が減少)し、中間純利益は前年同期比2億円減少の98億円。

	(億円)	
	26/9期	前年同期比
経常収益	405	△ 35
業務粗利益	325	31
資金利益	258	6
役務取引等利益	37	△ 2
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	28 (35)	27 (33)
経費(除く臨時処理分)(△)	189	△ 2
うち人件費(△)	78	△ 6
うち物件費(△)	100	3
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-
業務純益	135	33
<b>コア業務純益</b>	<b>99</b>	<b>0</b>
臨時損益	12	△ 48
うち株式等関係損益	3	△ 25
うち不良債権処理額(△) ②	0	△ 0
うち貸倒引当金戻入益 ③	10	△ 16
うち償却債権取立益 ④	0	0
経常利益	147	△ 15
特別損益	△ 0	5
税金等調整前中間純利益	147	△ 9
<b>中間純利益</b>	<b>98</b>	<b>△ 2</b>
与信関係費用(①+②-③-④)	△ 10	15

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

## コア業務純益 99億円(前年同期比 +0億円)

※コア業務純益:一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



## 有価証券関係損益 39億円(前年同期比 +7億円)

(億円)	26/9期	前年同期比
国債等債券損益	35	33
売却損益	35	27
償還損益	△0	5
株式等損益	3	△25
売却損益	3	△25
償却額(減損処理)(△)	-	-

## 与信関係費用 △10億円(前年同期比 +15億円)

(億円)	26/9期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△10	15
個別貸倒引当金繰入額	0	0

# もみじ銀行の平成26年度中間決算概要

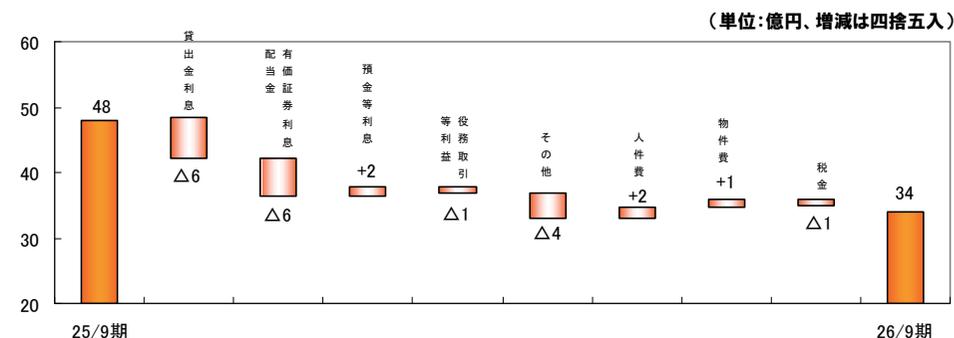
- ◆ 資金利益の減少を主因に、コア業務純益は前年同期比13億円減少。
- ◆ 与信関係費用が増加(貸倒引当金戻入益が減少)し、中間純利益は前年同期比12億円減少の45億円。

(億円)		
	26/9期	前年同期比
経常収益	245	△ 32
業務粗利益	198	△ 8
資金利益	165	△ 10
役務取引等利益	19	△ 1
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	13 (15)	3 (7)
経費(除く臨時処理分)(△)	148	△ 1
うち人件費(△)	67	△ 1
うち物件費(△)	72	△ 1
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-
業務純益	50	△ 6
<b>コア業務純益</b>	<b>34</b>	<b>△ 13</b>
臨時損益	10	△ 12
うち株式等関係損益	3	△ 8
うち不良債権処理額(△) ②	1	△ 0
うち貸倒引当金戻入益 ③	8	△ 7
うち償却債権取立益 ④	2	2
経常利益	60	△ 18
特別損益	△ 0	1
税金等調整前中間純利益	60	△ 17
<b>中間純利益</b>	<b>45</b>	<b>△ 12</b>
与信関係費用(①+②-③-④)	△ 10	4

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

## コア業務純益 34億円(前年同期比 △13億円)

※コア業務純益:一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



## 有価証券関係損益 18億円(前年同期比 △1億円)

(億円)	26/9期	前年同期比
国債等債券損益	15	7
売却損益	16	3
償還損益	△ 0	3
株式等損益	3	△ 8
売却損益	3	△ 8
償却額(減損処理)(△)	0	△ 0

## 与信関係費用 △10億円(前年同期比 +4億円)

(億円)	26/9期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△ 8	8
個別貸倒引当金繰入額	0	△ 1

# 北九州銀行の平成26年度中間決算概要

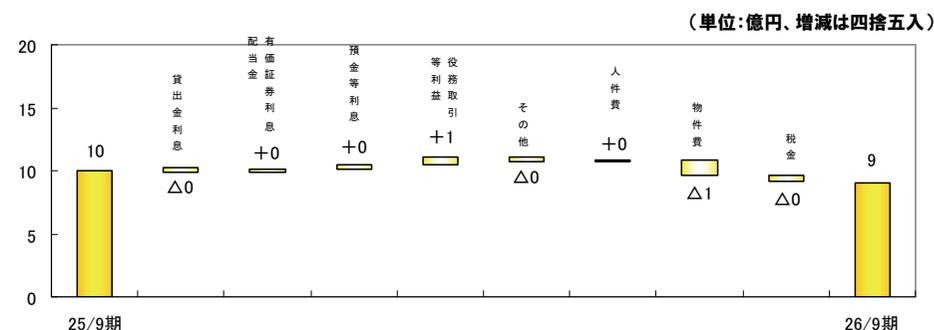
- ◆ **資金利益、役務取引等利益ともに増加するも、積極的な営業展開に伴う経費増加のためコア業務純益は前年同期比1億円減少。**
- ◆ **一方で、与信関係費用の減少(貸倒引当金戻入益の計上)により、中間純利益は前年同期比6億円増加の10億円。**

(億円)		
	26/9期	前年同期比
経常収益	71	8
業務粗利益	54	0
資金利益	49	0
役務取引等利益	4	0
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	0 (-)	△0 (0)
経費(除く臨時処理分)(△)	45	1
うち人件費(△)	20	△0
うち物件費(△)	21	1
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	1
業務純益	9	△2
<b>コア業務純益</b>	<b>9</b>	<b>△1</b>
臨時損益	8	11
うち株式等関係損益	△0	△0
うち不良債権処理額(△) ②	0	△4
うち貸倒引当金戻入益 ③	7	7
うち償却債権取立益 ④	0	0
経常利益	17	8
特別損益	△0	△0
税金等調整前中間純利益	17	8
<b>中間純利益</b>	<b>10</b>	<b>6</b>
与信関係費用(①+②-③-④)	△7	△9

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

## コア業務純益 9億円(前年同期比 △1億円)

※コア業務純益:一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



## 有価証券関係損益 △0億円(前年同期比 △0億円)

(億円)	26/9期	前年同期比
国債等債券損益	-	0
売却損益	-	0
償還損益	-	-
株式等損益	△0	△0
売却損益	-	△0
償却額(減損処理)(△)	0	0

## 与信関係費用 △7億円(前年同期比 △9億円)

(億円)	26/9期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△8	△6
個別貸倒引当金繰入額	1	△2

# 預貸金の状況

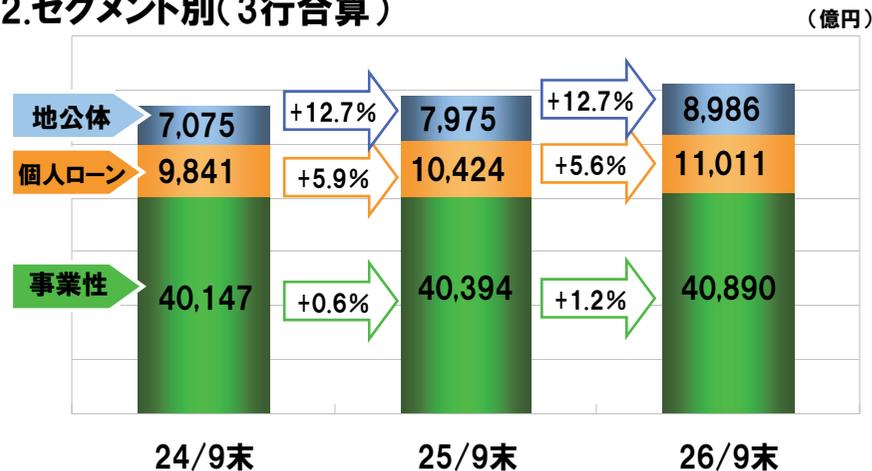
- ◆貸出金：個人ローンなどの良質な貸出資産を積上げた結果、前年同期比2,093億円増加し、総貸出金残高6兆円超。
- ◆預金：オーバーローンを解消した北九州銀行をはじめとして、総預金残高は前年同期比3,811億円増加。

## 貸出金

### 1. 銀行別推移

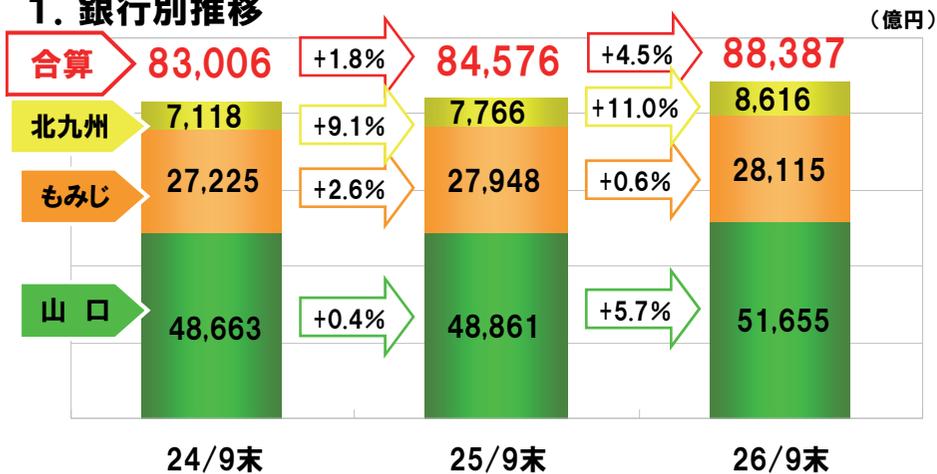


### 2. セグメント別(3行合算)

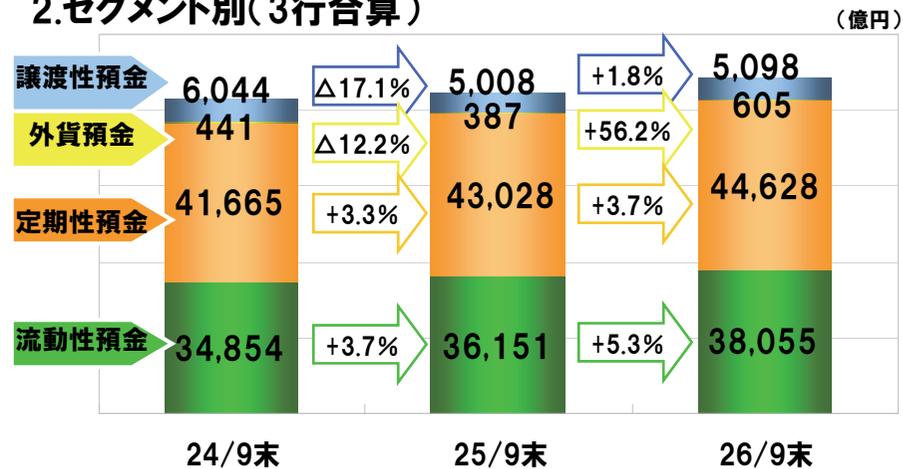


## 預金

### 1. 銀行別推移



### 2. セグメント別(3行合算)



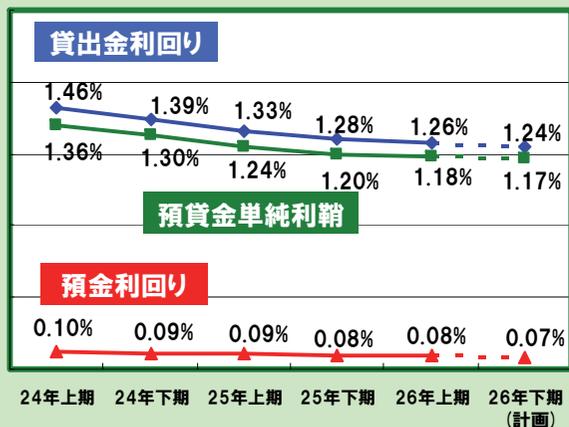
※記載計数は国内店勘定。

# 期中平均利回りの推移

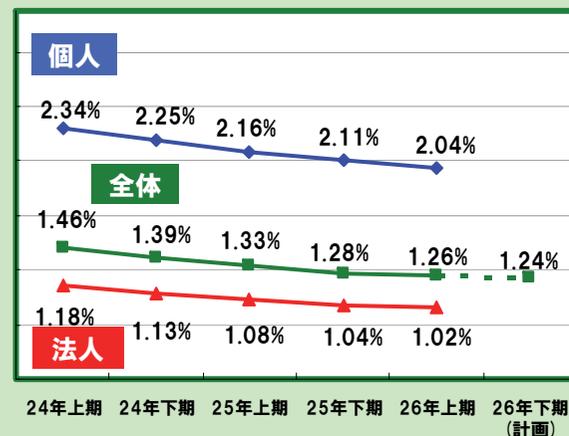
- ◆市場金利の低下が継続しており、依然として貸出金利回りは下方推移も法人向け貸出金利回りは下げ止まり傾向。
- ◆引続き、相対的に利回りの高い中小企業向け及び個人向け貸出に注力し、利回り低下を抑制。

## 山口銀行

### ○預貸金利回り

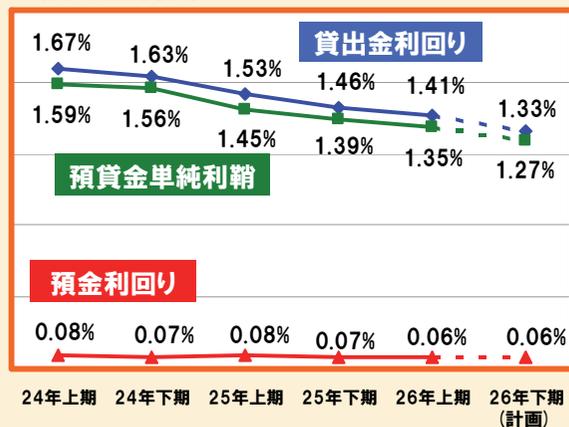


### ○法人・個人別貸出金利回り

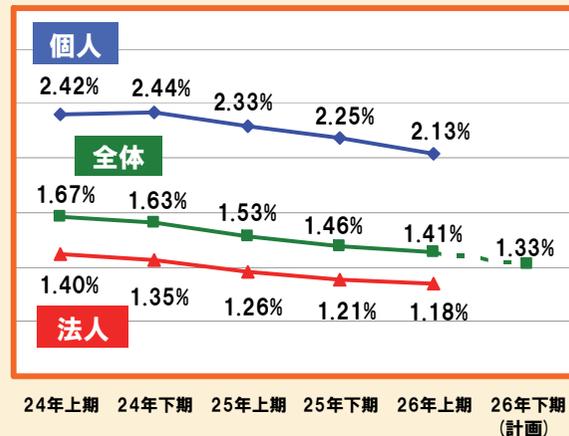


## もみじ銀行

### ○預貸金利回り

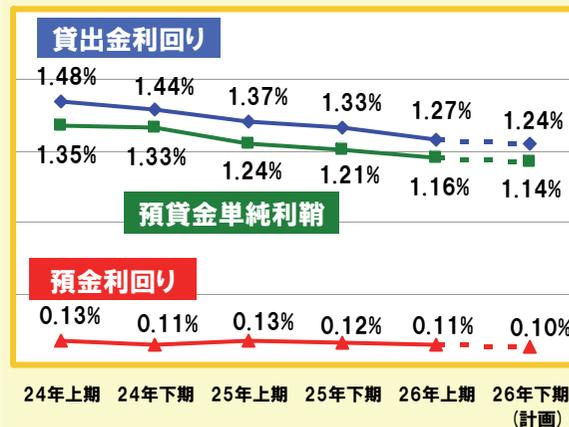


### ○法人・個人別貸出金利回り

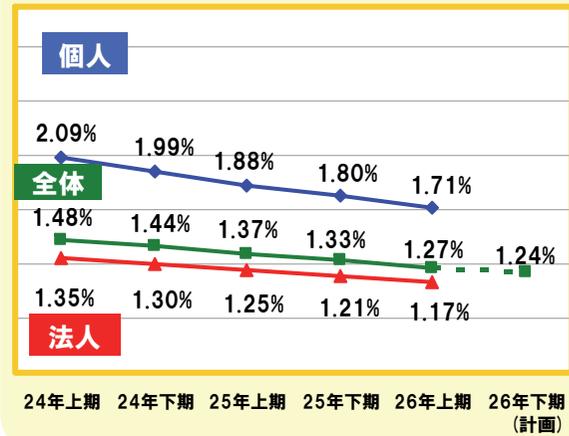


## 北九州銀行

### ○預貸金利回り



### ○法人・個人別貸出金利回り

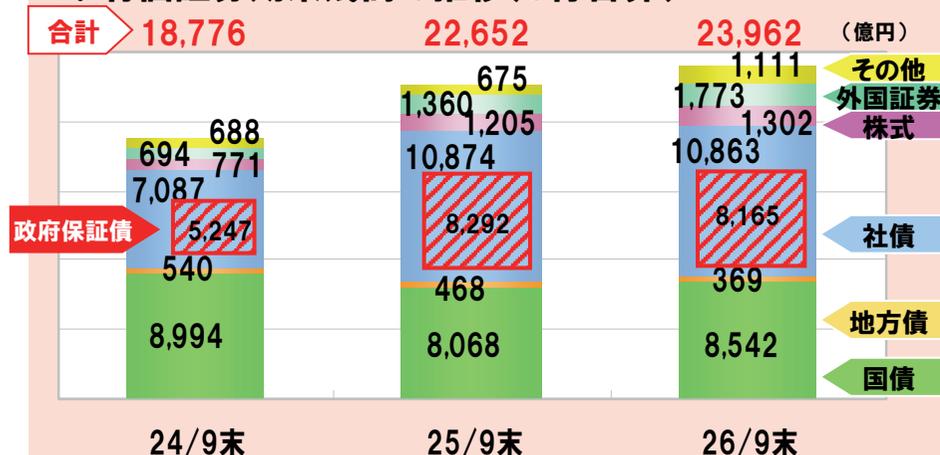


※利回り・利鞘は国内店分(預金についてはNCDを含む)、半期毎の利回りを記載、単位未満を切捨表示。  
 ※法人・個人別貸出金利回りは実績のみ表示。

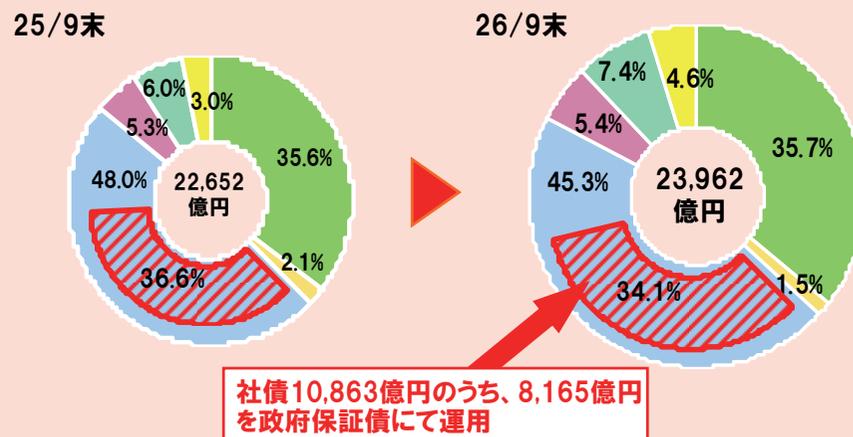
# 有価証券残高・評価損益の状況

- ◆機動的な売買により、資金利益及び売買損益を確保。
- ◆株式評価額が増加し、有価証券評価益は**747億円(前期比204億円増加)**の水準。

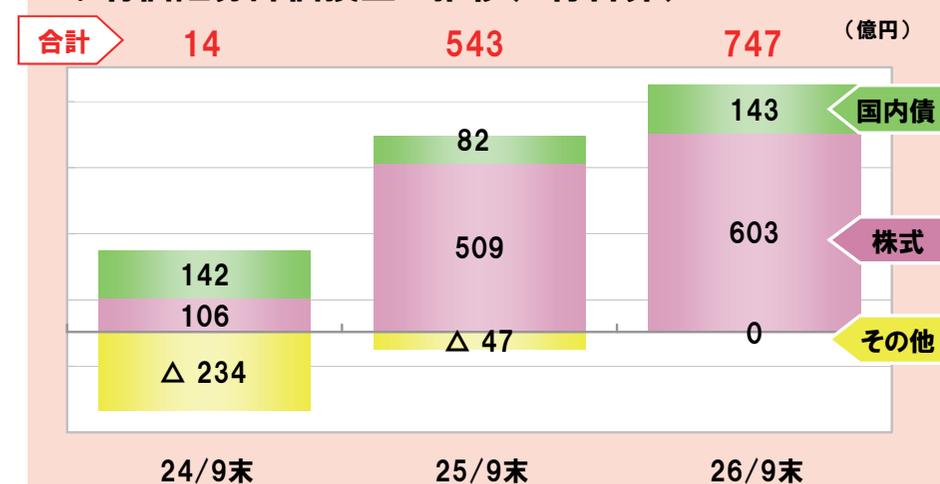
## 1. 有価証券期末残高の推移(3行合算)



## 2. 有価証券構成比(3行合算)



## 3. 有価証券評価損益の推移(3行合算)



## 4. 保有債券のデュレーション (年)

山口銀行	25/9期	26/9期	前年同期比
国内債	4.79	4.50	▲0.29
外国債券	3.71	4.34	+0.63

もみじ銀行	25/9期	26/9期	前年同期比
国内債	5.16	4.03	▲1.13
外国債券	3.69	2.68	▲1.01

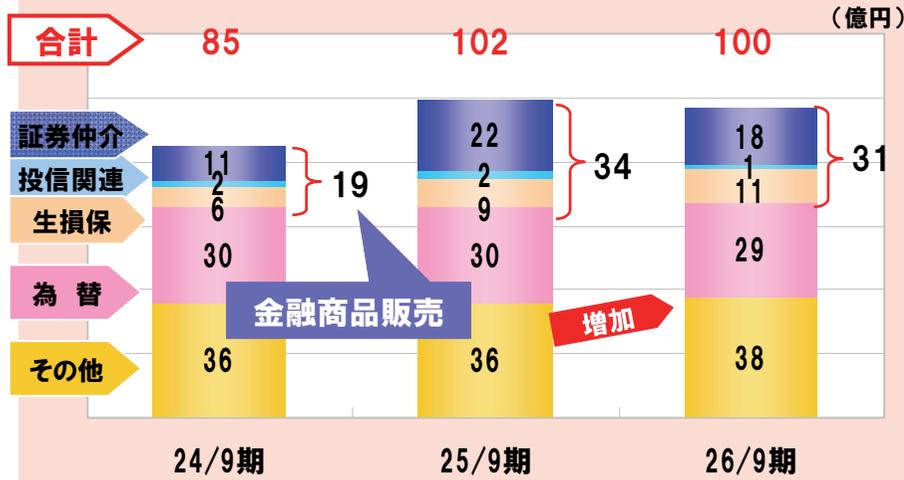
  

北九州銀行	25/9期	26/9期	前年同期比
国内債	6.18	9.98	+3.80
外国債券	-	-	-

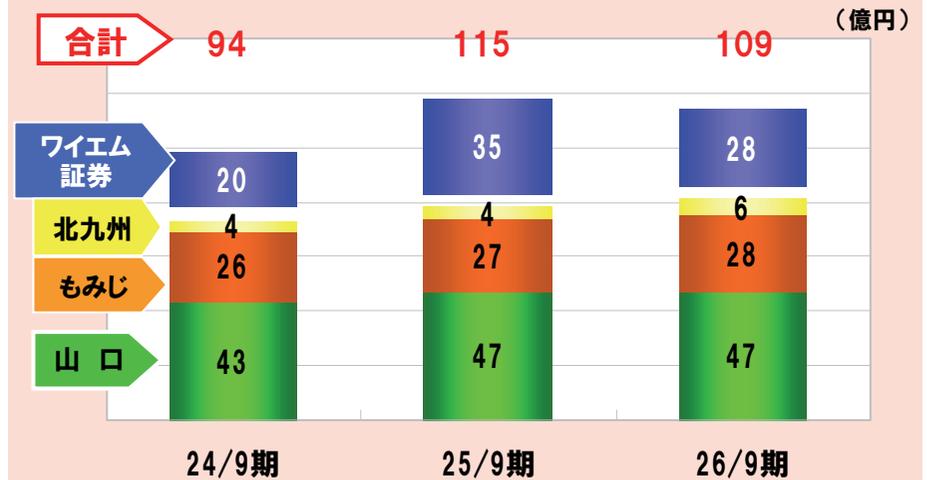
# 役務収益の推移

- ◆株式市場が好況であった**前期比較**では**微減**となったものの、引続き金融商品販売手数料を中心に**高水準を維持**。
- ◆ビジネスマッチングなど新たなソリューションビジネスの展開により、**その他役務収益は増加**。

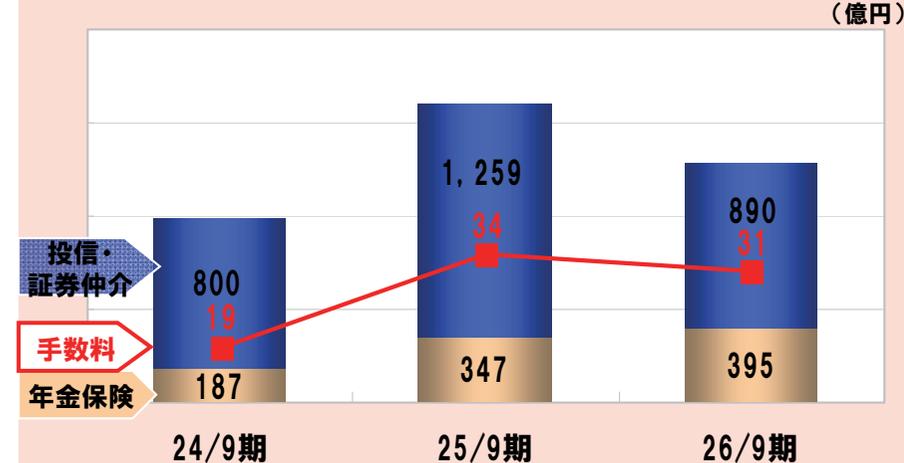
## 1. 商品・サービス別役務収益(3行合算)



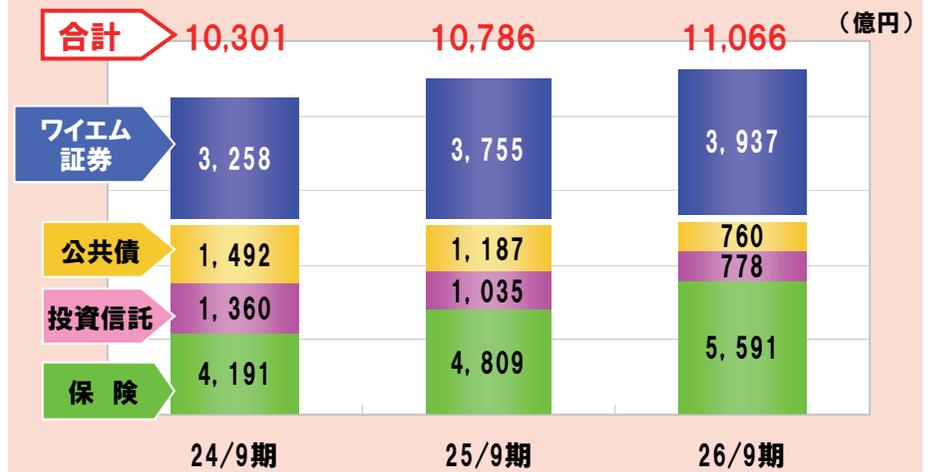
## 3. グループ企業別役務収益(ワイエム証券を含む)



## 2. 投信・証券仲介、年金保険販売実績(3行合算)



## 4. グループ個人預り資産推移(ワイエム証券を含む)

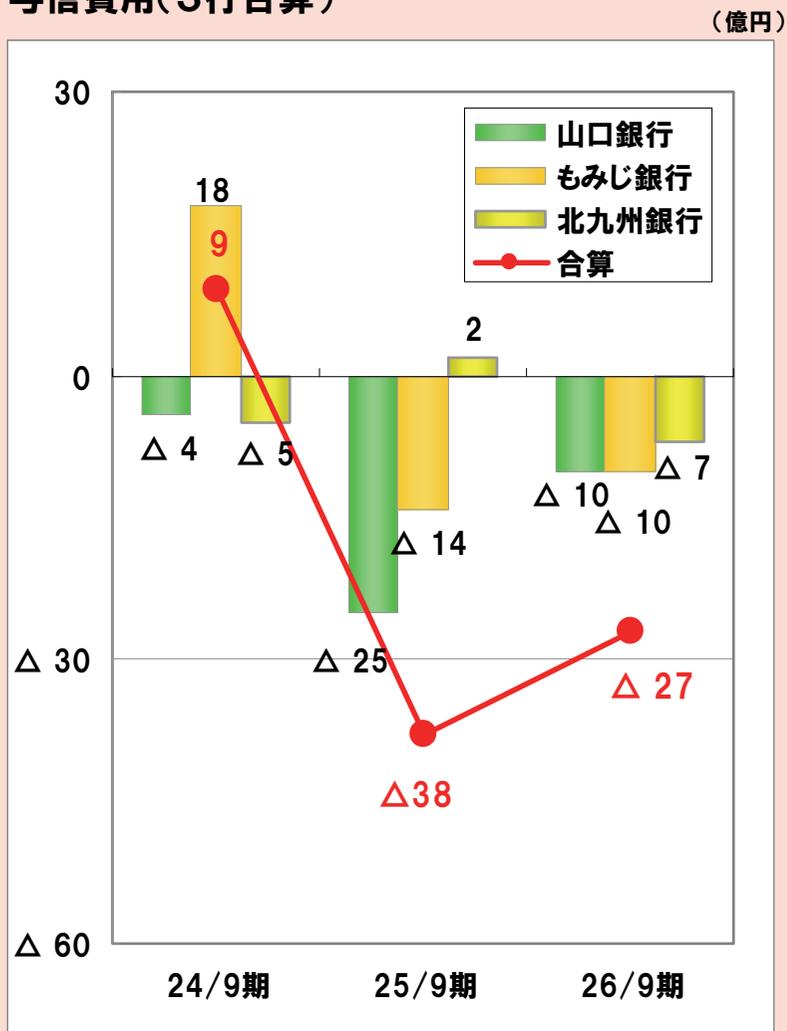


※単位未満切捨て。グループ企業別の数値については、グループ間の相殺処理実施後の数値。

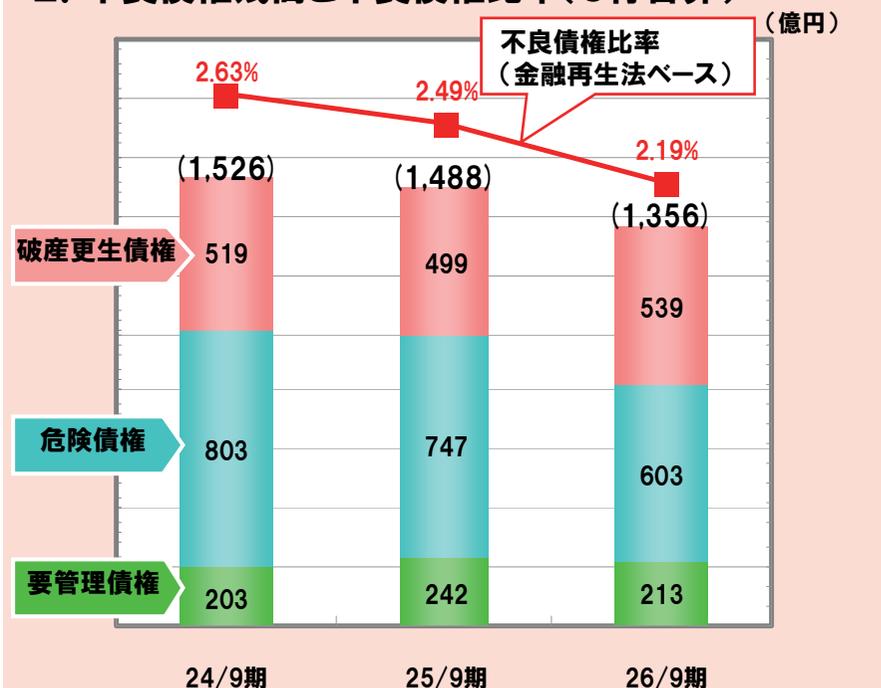
# 信用コストと不良債権の状況

- ◆与信費用は、3行合算で前年同期比10億円増加(貸倒引当金戻入益が減少)して△27億円(利益計上)。
- ◆不良債権残高は、前年同期比132億円減少。不良債権比率も前年同期比△0.30%と大幅に改善。

## 1. 与信費用(3行合算)



## 2. 不良債権残高と不良債権比率(3行合算)



### [業種別開示債権](3行合算)

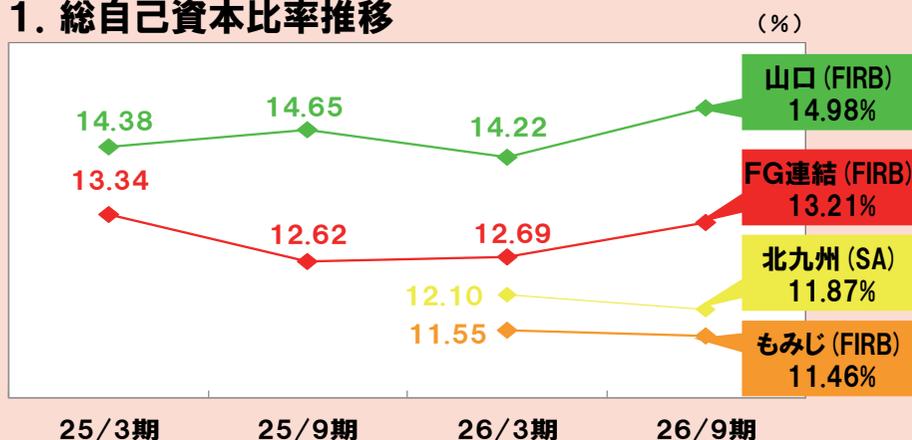
(億円)

	25/9期	26/9期	増減
開示債権合計	1,488	1,356	△ 132
製造業	246	232	△ 14
建設業	202	174	△ 28
卸売・小売業	244	229	△ 14
不動産業・物品賃貸業	162	146	△ 16
各種サービス業	316	284	△ 31
その他	315	288	△ 26

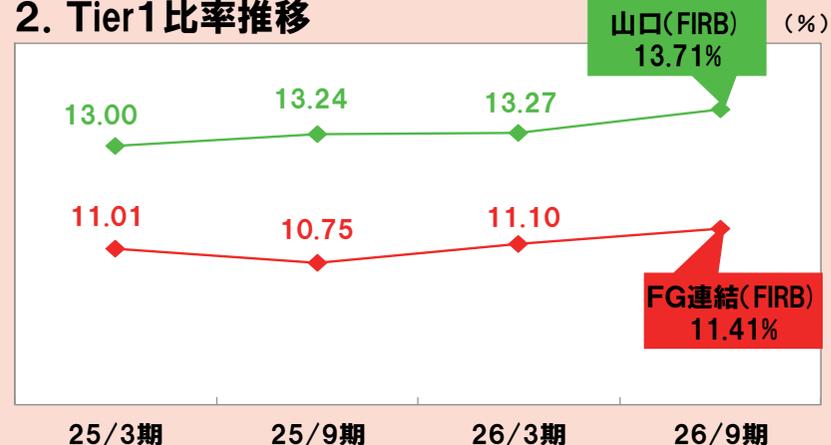
# 自己資本比率の状況

- ◆平成26年9月期の**総自己資本比率13.21%**、**Tier1比率11.41%**と、引続き十分な水準。
- ◆平成25年度に**優先株式の消却**などを実施し、**資本の質を改善**。

## 1. 総自己資本比率推移

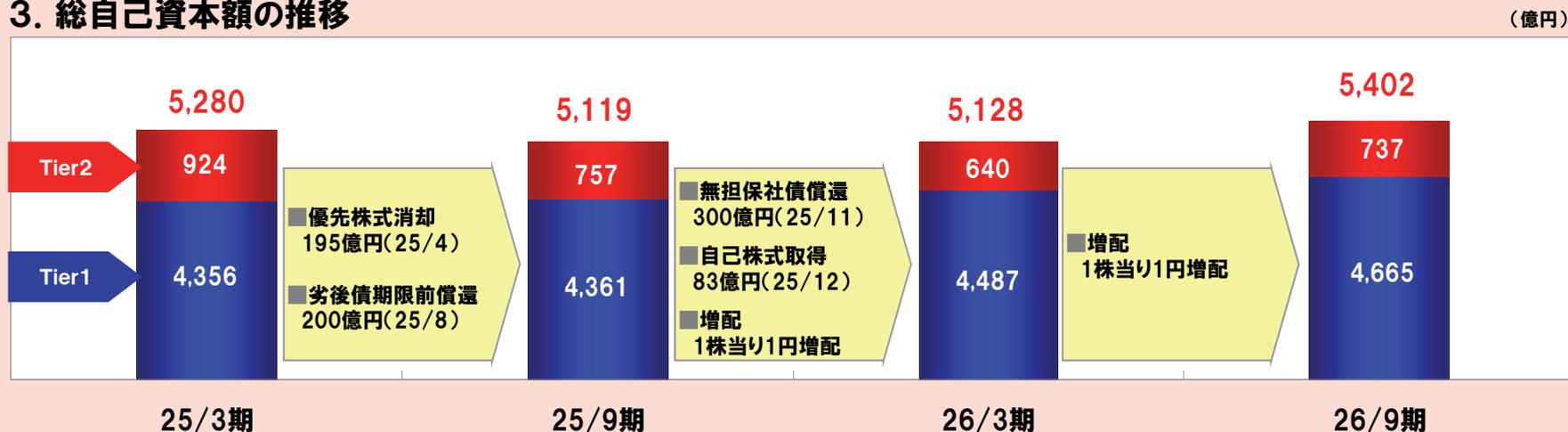


## 2. Tier1比率推移



※山口フィナンシャルグループ及び山口銀行は平成25年3月期より国際統一基準(バーゼル3)により算出。もみじ銀行及び北九州銀行は平成26年3月期より国内基準(バーゼル3)により算出。  
 ※山口フィナンシャルグループ、山口銀行及びもみじ銀行は信用リスク・アセットの算出において、基礎的の内部格付手法を採用。北九州銀行は標準的手法により算出。  
 ※自己資本の構成に関する開示事項については当社ホームページ上に記載。

## 3. 総自己資本額の推移



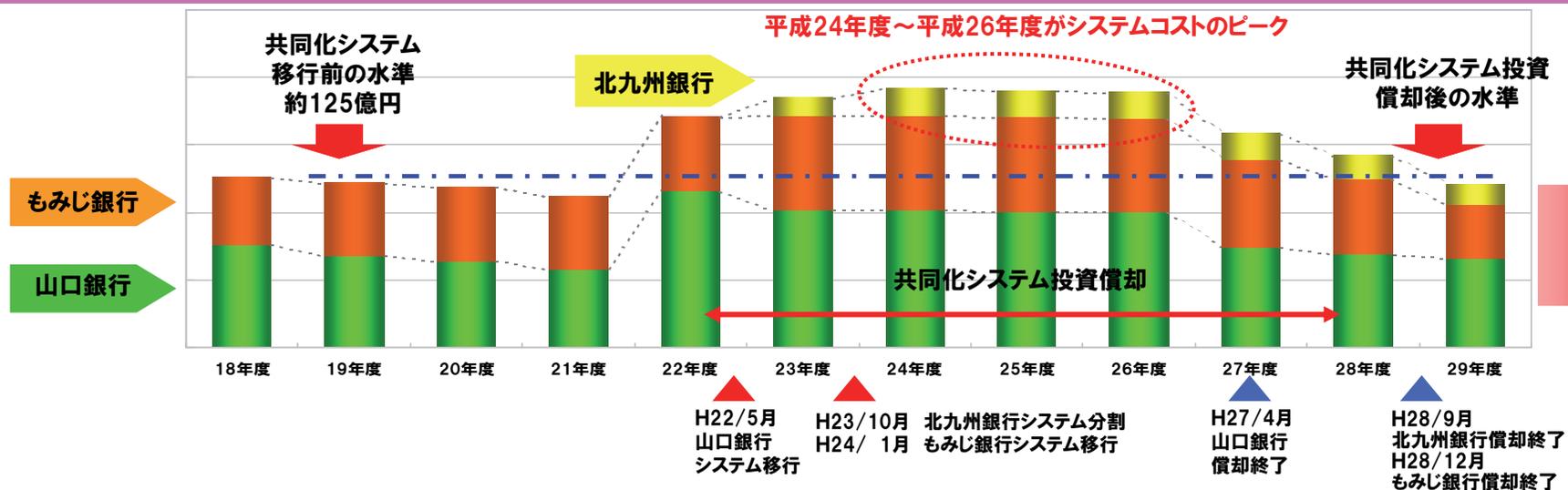
# 経費の推移と見通し

- ◆平成22年度より増加していたシステム経費のピークは**今年度が最終年度**。
- ◆平成27年度以降は、**システム・事務共通化の効果**を最大限に活用するステージへ進む。

## 3行合算経費と修正OHR(山口FG連結)の推移



## システムコストの推移(イメージ図)



# 平成27年3月期の業績予想

- ◆平成27年3月期は、貸倒引当金戻入益(利益計上)や有価証券関係損益が減少し、減収減益を予想。
- ◆平成26年5月公表の業績予想から、**経常利益で5億円、当期純利益で20億円**それぞれ上方修正。

## 1. 山口FG連結業績予想

(単位:億円)	YMFG連結	
	通期予想	26/3比
経常収益	1,470	△ 140
コア業務粗利益	1,127	△ 10
コア業務純益	288	1
経常利益	420	△ 78
当期利益	260	△ 52

## 2.3 行合算業績予想

(単位:億円)	3行合算	
	通期予想	26/3比
経常収益	1,415	△ 37
コア業務粗利益	1,071	△ 2
資金収支	936	△ 13
役務収支	133	9
経費	754	△ 14
人件費	330	△ 16
物件費	383	△ 1
コア業務純益	316	11
経常利益	453	△ 47
当期利益	304	△ 26
与信費用	△ 26	42

## 3. 各行単体業績予想

(単位:億円)	山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
	通期予想	26/3比	通期予想	26/3比	通期予想	26/3比
経常収益	790	△ 47	490	△ 71	135	6
コア業務粗利益	598	20	361	△ 25	111	3
資金収支	516	11	320	△ 26	99	1
役務収支	81	5	41	2	10	2
経費(△)	370	△ 9	292	△ 6	91	1
人件費(△)	155	△ 11	133	△ 4	41	0
物件費(△)	196	△ 0	142	△ 3	44	1
コア業務純益	227	30	69	△ 19	20	1
経常利益	300	△ 6	130	△ 43	23	2
当期利益	200	10	90	△ 39	14	2
与信費用	△ 10	36	△ 15	7	△ 1	△ 1

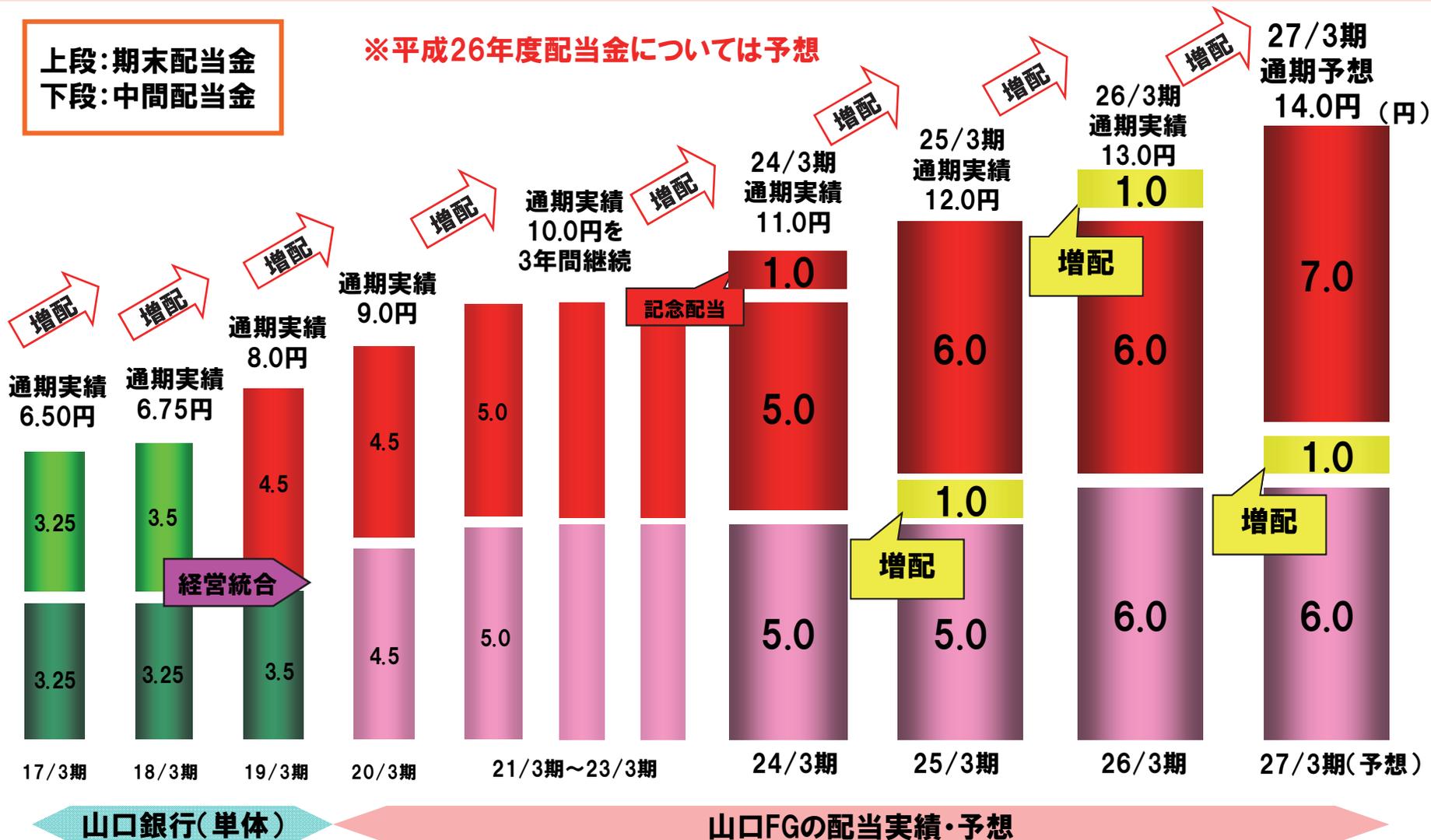
※記載金額は、単位未満を切捨て表示

# 配当実績・計画

- ◆平成26年3月期通期では、3年連続して増配となる年間13.0円の配当実績。
- ◆平成27年3月期は、4年連続して増配となる年間14.0円の配当を予想。

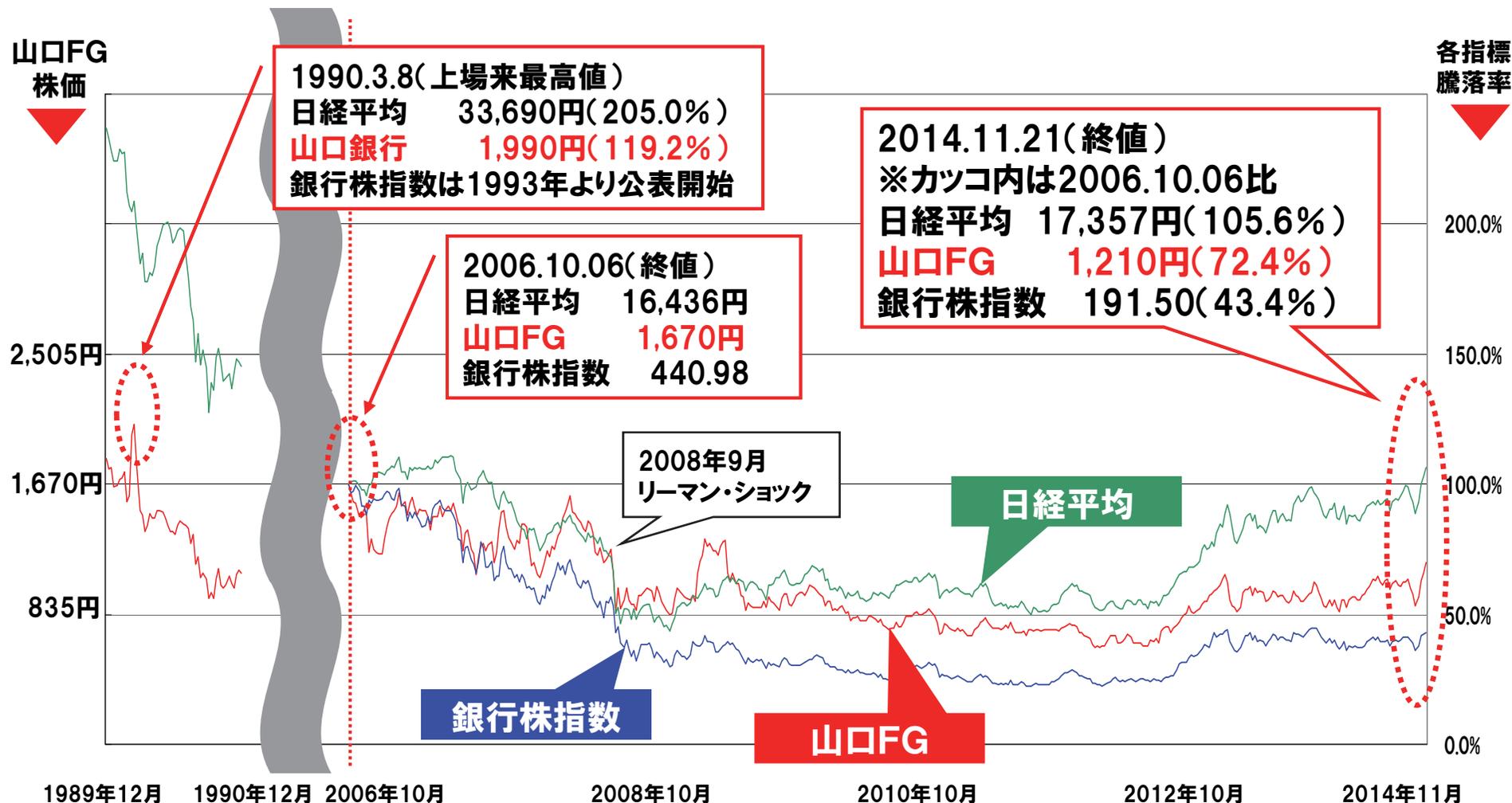
上段: 期末配当金  
下段: 中間配当金

※平成26年度配当金については予想



# 株価推移

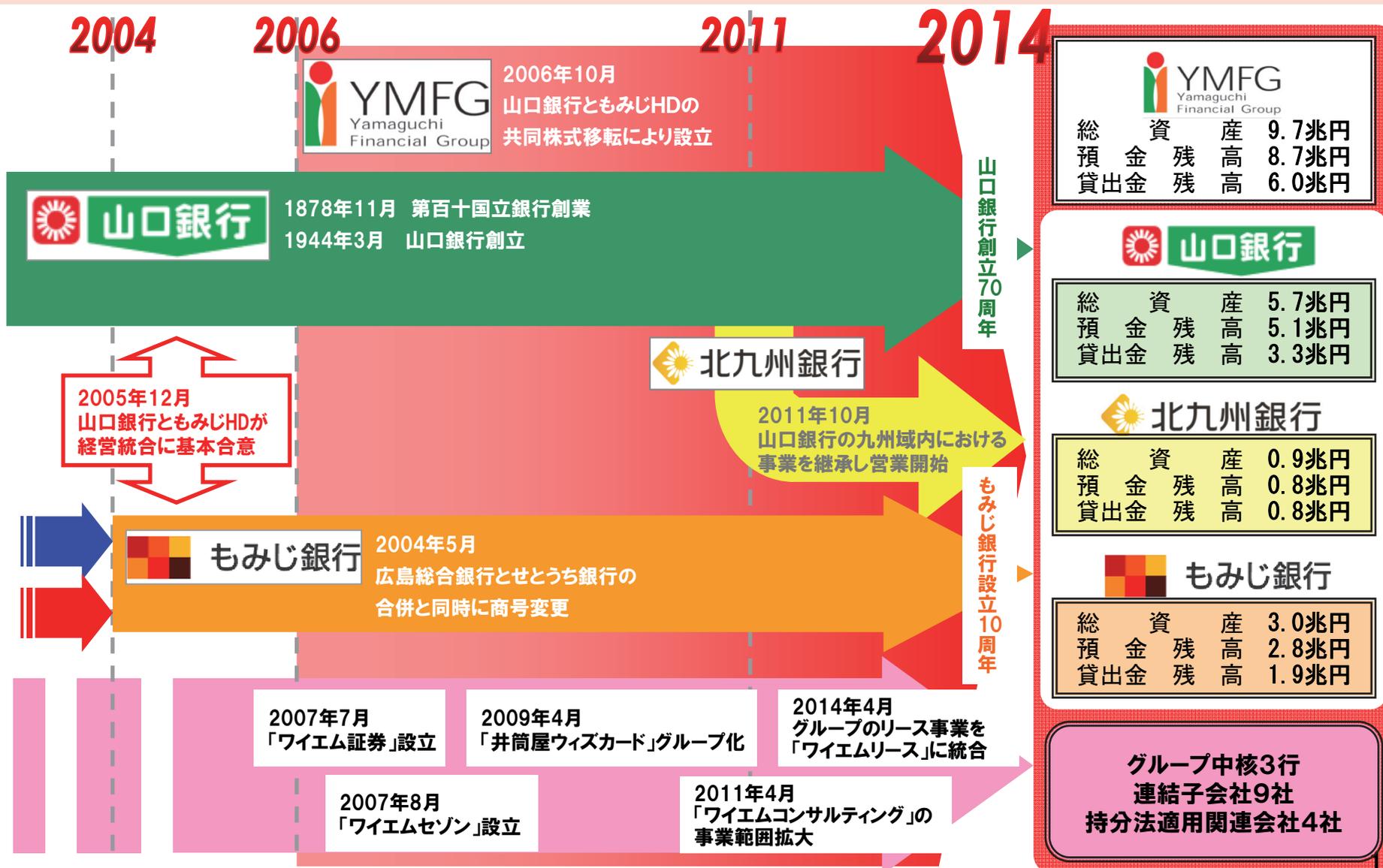
- ◆2006年10月に上場して以降、2008年頃からは銀行株指数を上回って推移。
- ◆直近の山口FG株価は**1,210円**(山口FG上場時比**72.4%**)。



▲ 山口FG上場時(2006年10月)を100とした週足推移

## 2.グループ戦略

- ◆『健全なる積極進取』の経営方針の下、地方銀行同士の**広域統合**を他行に先駆け、実現。
- ◆広域金融グループとして更なる発展を目指す。



# リレーション強化によるYMFGファンの増加

- ◆店舗ネットワークの最適化により**個人のお客様の利便性向上**に努め、顧客基盤の拡大を図る。
- ◆**グループ3行共通**で多様なニーズへ応えつつ、**地域に応じた各行独自展開**によりお客様の問題解決につなげる。

## グループ3行共通

- 周年キャンペーン・商品  
山口70周年、もみじ10周年  
北九州3周年
- 相続関連サービス導入
- 年金・国民年金基金加入  
キャンペーン
- 年金受給者金利上乘せ
- 退職記念特別定期
- 統合顧客システム(i-CIF)  
の導入
- 会員制サービス拡充
- コンビニATM拡充
- 統一キャラクターによる  
PR継続



山口県内を中心に  
**133**支店・出張所  
・新規市場開拓のための支店  
開設検討中

国内有人店舗数 **280**  
(平成26年9月30日現在)

★グループ3行間利用手数料無料  
ATM約1千台



★顧客利用手数料平日時間内無料 コンビニATMネットワーク

セブンイレブン(セブン銀行)  
約2.0万台

ファミリーマート等(E-net)  
約1.3万台

## 山口銀行

- 夏のかすみんサンキュー  
キャンペーン
- Zooっと宇部FAN  
キャンペーン

## もみじ銀行

- カーブV預金(20年目)
- カーブデザイン通帳、カード
- ファミリーマート等(E-net)  
の平日時間内無料化開始  
(26/12~)

## 北九州銀行

- 北九州市指定金融機関の  
指定獲得
- 開業来の店舗網拡充
- ギラヴァンツ応援定期  
(開業来3年目)

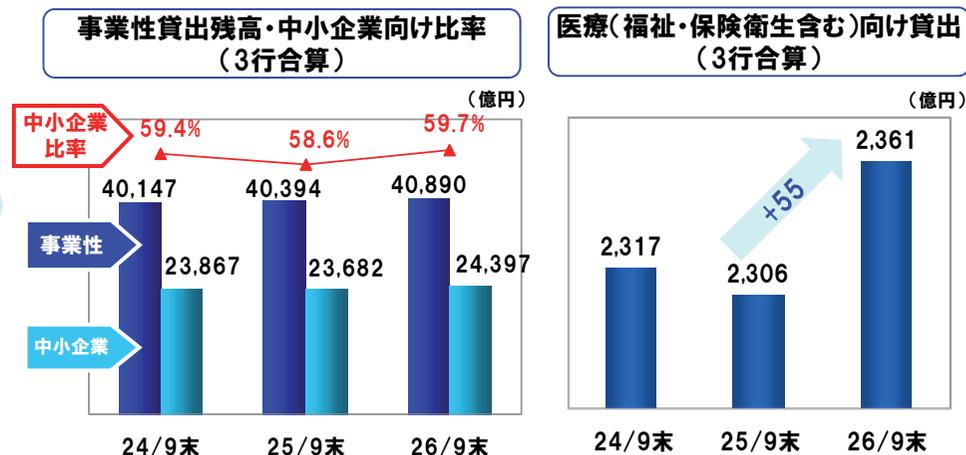
# ソリューション提供による貸出資産の拡大

- ◆ 地元中小企業を中心としたお取引先企業の問題解決に全力で取り組み、お取引先企業と共に繁栄していく。
- ◆ 個人のお客様の多様な資金調達ニーズへ応えていくことで、良質な貸出資産の拡大を図る。

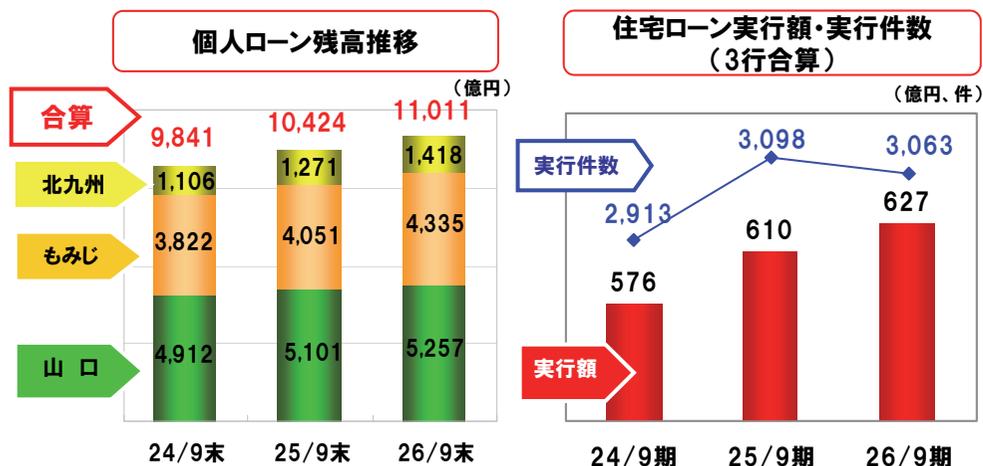
## お取引先企業の問題解決

- ソリューション営業部の設置
- 情報コーディネーターの配置
- 成長分野に特化した専担者の配置
  - ・医療・介護、農林水産業、環境分野
- 海外進出支援コンサルティング
  - ・海外拠点を中心としたアジアネットワークの活用
- ワイエムコンサルティングとの連携
- 各機関との連携による幅広い資金調達手段の提供

## 事業性貸出の状況



## 個人ローンの状況

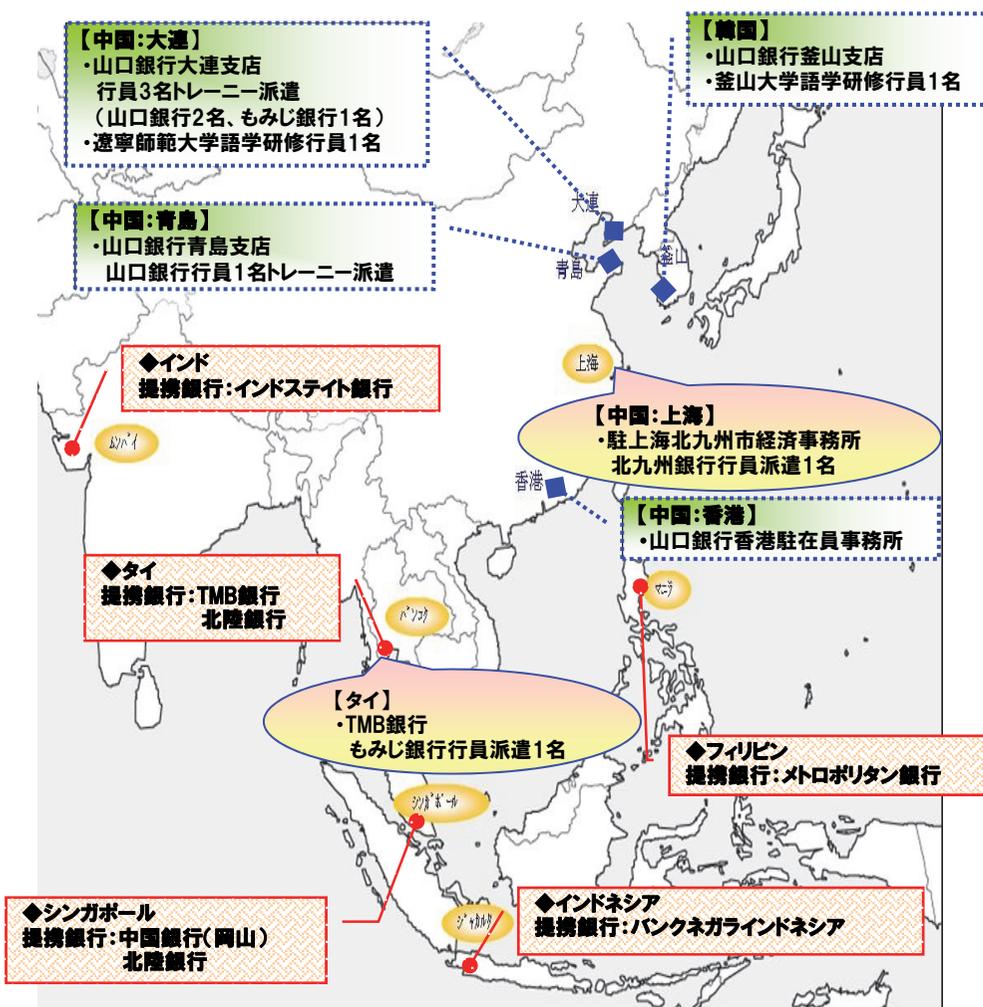


## 多様な資金調達ニーズへ対応

- 「リバースモーゲージ型」ローンの取扱開始(26/11~)
- 学資ローンの商品内容拡充
  - ・資金用途に中学校進学に伴う資金を追加
- WEB広告の一部導入
- 多目的ローンの商品内容拡充
  - ・申込可能年齢の引上げ(65歳→75歳)
  - ・融資期間の延長(8年→10年)
  - ・年金収入者も申込可能に
- 住宅ローンリトライ商品導入

- ◆アジアで事業拡大するお取引先の進出支援のため、アジアネットワークを最大限活用したソリューションを提供。
- ◆増加する海外進出支援のため、国内での外貨建貸出、海外支店での貸出に積極的に対応。

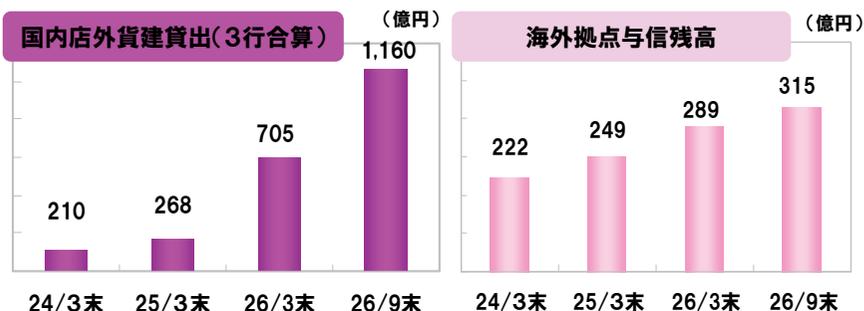
## アジアにおけるネットワーク



## お取引先向け海外ソリューションの提供

- 海外4拠点での支援件数：587件（平成25年度実績）
  - 現地での金融サービス提供
  - 海外進出支援
  - 貿易取引支援
  - 海外商談会・展示会の情報提供、個別商談サポート（ビジネスマッチング）
- 海外拠点のないチャイナプラスワンへの対応
  - 東南アジア現地金融機関、日系金融機関との提携
  - TMB銀行(タイ)には行員1名派遣(来年1月には1名増員し2名派遣予定)

## 外貨建貸出、海外拠点与信残高の拡大



- ユーロ米ドル建てCB(転換社債)発行 300百万米ドル  
 (外貨建資金調達ニーズへの対応)
- クロスボーダーローン取組(タイ・ベトナム・マレーシアなど現地設備ニーズに対応)
- 日本貿易保険(NEXI)、国際協力銀行(JBIC)を活用した現地資金支援
- 人民元建融資取扱認可第1号の地方銀行：山口銀行
- 青島・大連支店では日本の18金融機関からスタンドバイLC引受け  
 (平成26年9月末現在)

- ◆YMFGグループの強みや、地元公的機関等との連携を活かし、地域活性化に注力。
- ◆ファンド等を活用した、成長資金の供給。

## YMFG地域密着型金融の基本方針

## “ソリューション提供による地域活性化の取り組み”

### 連携による地域活性化

#### ●グループ内の連携強化

- ・広域金融グループの強みを活かし、広島のお客様と北九州のお客様のニーズの橋渡しなどに取り組み。
- ・証券会社、コンサルティング会社などを抱える総合金融グループの強みを活かしお客様の問題解決に取り組み。

#### ●地公体・大学等公設機関との連携強化

- ・山口県内の首長を対象とした「やまぎんPPP・PFIセミナー」を開催。
- ・行政等の施策と連携し各種補助金、利子補給制度等の支援取組。
- ・地元自治体、地元大学、研究機関等との連携強化による経営、技術相談等支援。

【平成26年度上半期取組実績】

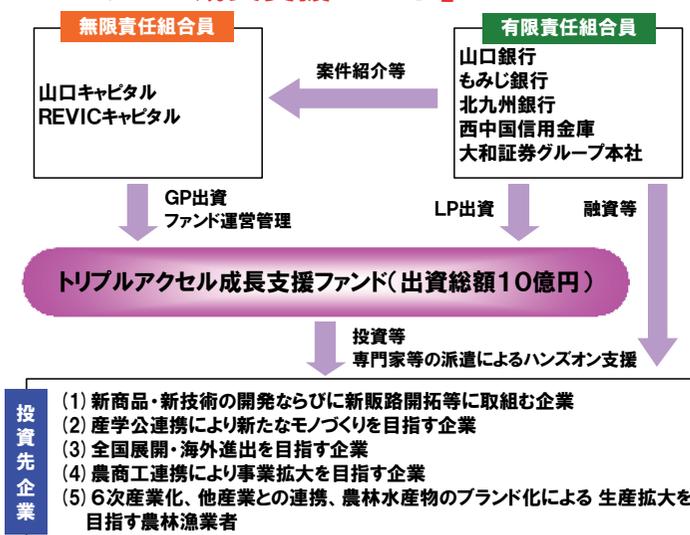
	ビジネスマッチング (成約件数)	産官学連携 (取次件数)	創業支援 (創業支援補助金申請支援件数)
山口銀行	35	13	13
もみじ銀行	147	12	10
北九州銀行	58	21	14

#### ●「やまぐち夢づくり産業支援ファンド」

- ・創設日：平成25年4月5日
- ・商工業を中心に農林水産業も含めた総合的な産業力強化を図るため、山口県と共同で設立。
- ・ファンド総額：10億円(当行グループ6.7億円出資)
- ・投資実績：8件／299.5百万円(平成26年9月現在)

### ファンドによる成長支援

#### ●「トリプルアクセラ成長支援ファンド」



- ・設立日：平成26年5月30日
- ・目的：成長資金や新規事業開拓資金の供給による地域活性化、雇用増加
- ・ファンド総額：10億円
- ・第1号投資：山口県の酒造会社へ40百万円(平成26年8月)

#### ●公益財団法人やまぎん地域企業助成基金

- ・地域経済の健全な発展を目的として、昭和59年設立。
- ・地元3県の中小企業や、大学等で行われている研究開発に対し助成。
- ・25年度実績：19先／19百万円(中小企業14先、大学等研究開発5先)
- ・設立来実績：416先／416百万円

- ◆『リレーション強化によるYMFGファンの増加』に向け、ソリューションビジネスへの転換を加速させる。
- ◆YMFGグループを起点とした情報のマッチングによる新たな付加価値を創造していく。



YMFGの主要営業エリア(山口・北九州・広島)の中堅・中小企業のニーズと、永年取引がある東海道エリアの大手企業のニーズをマッチングすることにより、地域を超えてお客様を繋ぐことで地元新しい付加価値を創造していきます。

# 3.資料編

# 業績推移(1) FG連結・3行合算

## FG連結

(億円)

	21/3期 (通期)	22/3期 (通期)	23/3期 (通期)	24/3期 (通期)	24/9期 (半期)	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	1,227	1,199	1,181	1,169	622	1,185	579	1,137	555	△ 23
コア業務純益	385	373	299	277	182	319	150	286	130	△ 19
経常利益	195	390	357	363	191	438	253	498	210	△ 42
当期利益	137	267	191	179	122	272	158	312	134	△ 24
ROE	3.31%	6.19%	4.23%	3.92%	5.18%	5.52%	6.11%	6.04%	5.06%	△ 1.05%
総資産	77,772	86,475	87,581	91,154	90,830	93,272	93,143	96,350	97,383	4,240
BIS比率	9.67%	11.13%	11.36%	11.75%	12.90%	13.34%	12.62%	12.69%	13.21%	0.59%

## 3行合算

(億円)

	21/3期 (通期)	22/3期 (通期)	23/3期 (通期)	24/3期 (通期)	24/9期 (半期)	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	1,200	1,152	1,149	1,120	599	1,128	544	1,073	527	△ 16
資金収支	1,058	1,029	1,051	1,008	478	945	477	949	473	△ 3
役務収支	123	105	102	102	46	104	63	123	60	△ 2
経費	773	753	810	810	402	786	385	768	383	△ 2
人件費	379	376	380	369	180	359	174	346	166	△ 7
物件費	355	339	384	395	199	389	191	385	194	2
コア業務純益	426	398	338	309	196	341	158	304	143	△ 14
経常利益	240	418	425	393	200	457	250	500	225	△ 24
当期利益	185	303	264	215	137	304	163	330	155	△ 8
与信関係費用	101	31	27	4	9	1	△ 38	△ 69	△ 27	10

※記載金額の単位未満は切捨て表示

# 業績推移(2) 各行単体

## 各行単体

(億円)

		21/3期 (通期)	22/3期 (通期)	23/3期 (通期)	24/3期 (通期)	24/9期 (半期)	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	前年同期比
山口銀行	コア業務粗利益	744	718	733	665	284	579	291	577	289	△ 2
	資金収支	666	647	672	594	257	511	252	505	258	6
	役務収支	69	68	68	66	29	65	39	76	37	△ 2
	経費	461	444	503	443	204	395	192	380	189	△ 2
	人件費	241	237	234	199	89	176	84	166	78	△ 6
	物件費	198	187	239	223	103	201	97	196	100	3
	コア業務純益	283	273	230	221	80	184	99	197	99	0
	経常利益	142	259	283	262	93	265	162	306	147	△ 15
	当期利益	112	162	176	138	57	167	100	189	98	△ 2
	与信関係費用	104	67	45	21	△ 4	△ 14	△ 25	△ 47	△ 10	15
もみじ銀行	コア業務粗利益	455	434	415	402	261	441	198	386	183	△ 15
	資金収支	391	382	379	365	171	334	176	346	165	△ 10
	役務収支	53	36	33	33	14	32	20	38	19	△ 1
	経費	312	308	307	322	153	301	150	298	148	△ 1
	人件費	137	138	146	149	70	141	68	138	67	△ 1
	物件費	156	152	144	150	74	144	73	145	72	△ 1
	コア業務純益	142	125	108	79	107	139	48	88	34	△ 13
	経常利益	94	120	121	113	103	170	78	173	60	△ 18
	当期利益	73	141	88	74	78	125	57	129	45	△ 12
	与信関係費用	△ 2	△ 35	△ 18	△ 6	18	18	△ 14	△ 22	△ 10	4
北九州銀行	コア業務粗利益				53	53	108	53	108	54	0
	資金収支				48	49	99	48	97	49	0
	役務収支				3	3	7	3	8	4	0
	経費				44	44	89	43	89	45	1
	人件費				19	20	41	20	41	20	△ 0
	物件費				21	21	43	20	43	21	1
	コア業務純益				8	9	18	10	19	9	△ 1
	経常利益				17	3	20	8	20	17	8
	当期利益				2	2	12	4	11	10	6
	与信関係費用				△ 11	△ 5	△ 1	2	△ 0	△ 7	△ 9

※記載金額の単位未満は切捨て表示

# 貸出金推移(末残)

## 山口銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	前年同期比
国内貸出金合計	36,404	38,163	38,333	31,854	31,802	32,000	32,070	32,696	32,931	860
法人貸出金	26,953	27,184	27,031	21,859	22,050	22,024	21,973	22,461	22,378	404
大企業	9,132	9,775	9,699	9,638	9,884	10,034	10,323	10,138	10,252	△ 71
中堅企業	1,308	1,283	1,531	989	1,022	971	904	969	957	53
中小企業等	16,512	16,125	15,801	11,230	11,143	11,018	10,745	11,352	11,168	423
地公体	3,239	4,410	4,677	4,738	4,648	4,771	4,852	4,941	5,234	381
外郭団体	1,008	944	946	428	190	166	143	93	61	△ 82
個人ローン	5,201	5,625	5,679	4,828	4,912	5,037	5,101	5,200	5,257	156
住宅ローン	4,406	4,632	4,714	4,058	4,154	4,287	4,376	4,491	4,576	199
その他ローン	796	992	964	770	757	750	724	709	681	△ 43

## もみじ銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	前年同期比
国内貸出金合計	18,602	18,878	18,912	18,797	17,759	18,279	18,975	19,283	19,539	563
法人貸出金	13,021	12,757	12,344	12,126	12,130	12,154	12,406	12,152	12,154	△ 251
大企業	2,866	2,630	2,878	2,925	3,483	3,593	3,553	3,290	3,248	△ 305
中堅企業	761	1,170	761	804	596	582	600	611	603	3
中小企業等	9,394	8,956	8,704	8,397	8,049	7,978	8,252	8,249	8,302	50
地公体	1,169	1,476	1,719	1,760	1,736	2,101	2,447	2,819	2,988	541
外郭団体	167	205	205	134	70	64	69	76	60	△ 8
個人ローン	4,243	4,438	4,642	4,776	3,822	3,958	4,051	4,235	4,335	283
住宅ローン	3,435	3,701	3,963	4,111	3,175	3,351	3,482	3,672	3,804	321
その他ローン	807	737	678	665	647	606	569	562	530	△ 38

## 北九州銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	前年同期比
国内貸出金合計				7,231	7,503	7,654	7,748	8,046	8,417	669
法人貸出金				5,791	5,967	6,003	6,014	6,227	6,356	342
大企業				605	726	832	825	916	933	108
中堅企業				521	566	552	504	500	496	△ 7
中小企業等				4,664	4,674	4,618	4,684	4,810	4,926	241
地公体				399	400	389	388	378	559	170
外郭団体				20	29	55	74	89	83	8
個人ローン				1,020	1,106	1,206	1,271	1,350	1,418	147
住宅ローン				810	878	956	1,006	1,069	1,129	122
その他ローン				210	228	249	264	281	289	25

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

# 預金推移(末残)

## 山口銀行

(億円)

		21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	前年同期比
預金		43,640	47,387	48,282	43,703	44,489	45,780	45,900	47,678	48,373	2,473
内容別	一般	41,008	44,276	43,939	40,028	40,338	41,543	41,833	43,301	43,450	1,617
	公金	2,064	2,306	2,454	2,752	2,532	2,505	2,706	2,701	2,737	30
	金融	566	803	1,888	922	1,619	1,731	1,360	1,675	2,185	825
商品別	邦貨定期性預金	22,239	24,547	24,384	22,173	23,622	23,694	24,348	24,460	25,677	1,329
	邦貨流動性預金	21,093	22,527	23,504	21,248	20,648	21,849	21,327	22,719	22,223	896
	外貨預金	307	311	394	281	218	236	224	497	472	248
譲渡性預金		2,517	4,178	4,013	4,759	4,173	3,340	2,961	3,602	3,281	320

## もみじ銀行

(億円)

		21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	前年同期比
預金		24,748	26,520	26,068	25,995	25,833	26,122	26,464	26,445	26,822	358
内容別	一般	24,043	25,287	25,454	25,648	25,453	25,816	26,059	26,134	26,447	387
	公金	390	731	253	101	266	116	278	130	268	△ 10
	金融	315	501	361	245	112	190	125	181	105	△ 19
商品別	邦貨定期性預金	14,289	15,111	14,768	14,738	14,338	14,456	14,416	14,073	14,234	△ 182
	邦貨流動性預金	10,007	10,454	10,807	11,156	11,405	11,577	11,981	12,314	12,521	539
	外貨預金	451	954	492	99	89	88	66	56	67	0
譲渡性預金		145	444	1,557	1,915	1,392	2,079	1,484	2,007	1,293	△ 191

## 北九州銀行

(億円)

		21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	前年同期比
預金					6,377	6,638	6,842	7,203	7,686	8,093	890
内容別	一般				6,271	6,380	6,759	6,915	7,535	7,801	885
	公金				46	212	28	225	53	223	△ 2
	金融				59	46	55	61	97	68	7
商品別	邦貨定期性預金				3,379	3,704	3,971	4,263	4,360	4,717	453
	邦貨流動性預金				2,871	2,800	2,751	2,842	3,242	3,310	467
	外貨預金				126	133	119	96	82	65	△ 31
譲渡性預金					449	479	427	562	611	523	△ 39

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

# 資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)

## 山口銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	前年同期比
資産運用勘定計	45,607	49,473	52,106	50,719	48,234	48,589	50,390	51,041	52,804	2,414
貸出金	33,976	35,980	36,587	33,656	30,445	30,803	31,707	32,086	32,785	1,078
有価証券	10,062	10,417	12,317	12,371	13,416	13,591	15,077	14,864	16,072	995
コールローン	948	2,646	2,917	4,082	4,142	3,927	3,158	3,175	1,793	△ 1,365
資産調達勘定計	43,555	47,404	50,047	49,049	46,738	46,981	48,748	49,257	50,792	2,044
預金	41,784	44,183	46,104	44,506	42,158	42,944	45,170	45,668	46,565	1,395
譲渡性預金	2,142	3,627	4,181	4,838	4,808	4,168	3,327	3,209	3,488	161
コールマネー	376	300	393	253	346	396	608	664	925	317

## もみじ銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	前年同期比
資産運用勘定計	24,666	26,026	26,893	27,087	27,059	27,102	27,630	28,290	28,381	751
貸出金	17,428	18,416	18,486	18,562	18,431	18,024	18,418	18,763	19,120	702
有価証券	6,732	6,675	7,598	7,446	6,941	7,310	8,427	8,109	7,050	△ 1,377
コールローン	437	902	767	1,001	1,620	1,700	724	653	441	△ 283
資産調達勘定計	24,375	25,573	26,188	26,262	26,286	26,382	27,465	27,491	27,622	157
預金	23,662	24,765	25,333	25,049	25,281	25,325	25,907	26,032	26,407	500
譲渡性預金	298	397	590	1,027	828	880	1,379	1,249	969	△ 410
コールマネー	18	19	7	9	8	9	11	12	9	△ 2

## 北九州銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	前年同期比
資産運用勘定計				7,208	7,319	7,500	7,841	8,208	8,781	940
貸出金				6,774	7,011	7,194	7,581	7,696	8,146	565
有価証券				155	148	148	135	137	168	33
コールローン				251	124	123	89	75	47	△ 42
資産調達勘定計				6,703	6,844	7,024	7,378	7,525	8,081	703
預金				5,997	6,087	6,307	6,775	6,937	7,459	684
譲渡性預金				418	464	415	556	560	617	61
コールマネー				501	288	297	42	25	1	△ 41

※金額は単位未満を四捨五入表示。

# 利回り・利鞘推移

山口銀行		21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	前年同期比
資金運用利回	①	1.852	1.564	1.356	1.302	1.177	1.164	1.103	1.090	1.070	△ 0.033
貸出金利回	ア	1.930	1.736	1.618	1.537	1.461	1.431	1.339	1.313	1.262	△ 0.077
有価証券利回		1.659	1.346	1.295	1.056	0.843	0.841	0.811	0.846	0.884	0.073
コールローン利回		1.548	0.219	0.251	0.195	0.147	0.160	0.174	0.166	0.209	0.035
資金調達利回	②	0.408	0.267	0.179	0.135	0.116	0.115	0.108	0.104	0.097	△ 0.011
預金利回		0.365	0.257	0.172	0.123	0.099	0.098	0.096	0.091	0.084	△ 0.012
譲渡性預金利回		0.650	0.319	0.169	0.141	0.146	0.147	0.116	0.111	0.094	△ 0.022
コールマネー利回		2.928	0.663	0.647	1.038	0.974	0.891	0.513	0.513	0.428	△ 0.085
経費率	③	1.059	0.938	1.005	0.904	0.872	0.841	0.786	0.772	0.745	△ 0.041
資金調達原価	(②+③) ④	1.467	1.205	1.184	1.039	0.988	0.956	0.894	0.877	0.842	△ 0.052
預金等原価	イ	1.429	1.192	1.172	1.024	0.972	0.941	0.887	0.871	0.841	△ 0.046
預金等利回	ウ	0.379	0.261	0.172	0.124	0.104	0.103	0.097	0.092	0.085	△ 0.012
経費率		1.050	0.930	1.000	0.899	0.868	0.838	0.790	0.778	0.756	△ 0.034
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.501	0.544	0.446	0.513	0.489	0.490	0.452	0.442	0.421	△ 0.031
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.551	1.475	1.446	1.413	1.357	1.328	1.242	1.221	1.177	△ 0.065
預証単純利鞘		1.280	1.085	1.123	0.932	0.739	0.738	0.714	0.754	0.799	0.085

もみじ銀行		21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	前年同期比
資金運用利回	①	1.941	1.746	1.592	1.457	1.351	1.317	1.357	1.305	1.237	△ 0.120
貸出金利回	ア	2.246	2.021	1.892	1.781	1.668	1.653	1.534	1.498	1.412	△ 0.122
有価証券利回		1.170	1.099	0.897	0.783	0.783	0.725	1.066	1.057	1.114	0.048
コールローン利回		0.429	0.130	0.135	0.144	0.124	0.120	0.115	0.115	0.124	0.009
資金調達利回	②	0.358	0.282	0.186	0.113	0.087	0.084	0.085	0.082	0.073	△ 0.012
預金利回		0.319	0.259	0.174	0.108	0.081	0.078	0.078	0.076	0.067	△ 0.011
譲渡性預金利回		0.606	0.296	0.194	0.155	0.148	0.139	0.114	0.118	0.116	0.002
コールマネー利回		3.690	0.895	0.658	0.849	0.395	0.297	0.225	0.260	0.320	0.095
経費率	③	1.282	1.208	1.175	1.227	1.167	1.144	1.091	1.084	1.071	△ 0.020
資金調達原価	(②+③) ④	1.640	1.490	1.361	1.340	1.254	1.228	1.176	1.166	1.144	△ 0.032
預金等原価	イ	1.627	1.488	1.362	1.346	1.258	1.232	1.179	1.171	1.150	△ 0.029
預金等利回	ウ	0.322	0.260	0.175	0.110	0.083	0.080	0.080	0.078	0.069	△ 0.011
経費率		1.304	1.228	1.187	1.235	1.175	1.152	1.098	1.093	1.080	△ 0.018
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.619	0.533	0.530	0.435	0.410	0.421	0.355	0.327	0.262	△ 0.093
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.924	1.761	1.717	1.671	1.585	1.573	1.454	1.420	1.343	△ 0.111
預証単純利鞘		0.848	0.839	0.722	0.673	0.700	0.645	0.986	0.979	1.045	0.059

北九州銀行		21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	26/9期	前年同期比
資金運用利回	①				1.483	1.479	1.455	1.372	1.309	1.224	△ 0.148
貸出金利回	ア				1.546	1.482	1.462	1.375	1.352	1.271	△ 0.104
有価証券利回					0.592	2.193	1.960	1.987	1.996	2.004	0.017
コールローン利回					0.467	0.743	0.671	0.395	0.401	0.454	0.059
資金調達利回	②				0.140	0.139	0.139	0.138	0.130	0.117	△ 0.021
預金利回					0.131	0.136	0.137	0.136	0.128	0.114	△ 0.022
譲渡性預金利回					0.231	0.161	0.155	0.131	0.134	0.138	0.007
コールマネー利回					0.130	0.115	0.116	0.119	0.123	0.435	0.316
経費率	③				1.339	1.289	1.280	1.177	1.192	1.114	△ 0.063
資金調達原価	(②+③) ④				1.479	1.428	1.420	1.316	1.322	1.232	△ 0.084
預金等原価	イ				1.587	1.484	1.476	1.321	1.325	1.231	△ 0.090
預金等利回	ウ				0.138	0.137	0.138	0.135	0.128	0.116	△ 0.019
経費率					△ 0.041	1.346	1.338	1.185	1.196	1.115	△ 0.070
預貸金利鞘	(ア-イ)				△ 0.041	△ 0.002	△ 0.014	0.054	0.027	0.040	△ 0.014
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)				1.408	1.345	1.324	1.240	1.224	1.155	△ 0.085
預証単純利鞘					0.454	2.056	1.822	1.852	1.868	1.888	0.036

※単位未満を切捨表示。

# 債務者区分の遷移状況(平成26年3月末⇒平成26年9月末)

## (1)山口銀行

			26年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
26年3月末	正常先	24,237	23,473	459	4	0	0	-	300	
	要注意先	その他	4,132	542	3,309	27	6	3	4	239
		要管理先	150	-	4	143	1	-	-	1
	破綻懸念先	354	0	12	0	331	8	1	1	
	実質破綻先	83	-	-	-	0	72	1	8	
	破綻先	71	-	-	-	-	-	64	6	

ランクダウン518億円



ランクアップ559億円



## (2)もみじ銀行

			26年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
26年3月末	正常先	11,700	11,218	238	0	0	0	0	242	
	要注意先	その他	3,333	232	2,994	2	11	3	2	86
		要管理先	86	0	48	38	0	-	-	0
	破綻懸念先	167	-	3	-	155	2	0	5	
	実質破綻先	123	-	-	-	1	119	0	2	
	破綻先	110	-	0	-	-	-	109	0	

ランクダウン262億円



ランクアップ285億円



## (3)北九州銀行

			26年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
26年3月末	正常先	4,297	4,087	135	0	-	0	-	73	
	要注意先	その他	2,924	231	2,630	9	4	0	0	47
		要管理先	25	-	0	20	1	0	0	1
	破綻懸念先	68	-	2	0	59	3	3	0	
	実質破綻先	42	-	-	-	-	38	3	0	
	破綻先	65	-	-	-	-	-	63	1	

ランクダウン163億円



ランクアップ234億円



(注)

1. 対象債務者は個人消費者以外。
2. 前期末時点の債務者区分別与信額を当期末時点の債務者区分別に分類し、期中の与信額の増減は考慮しない。
3. 「その他」は、全額回収・売却等により当期末時点において、残高がゼロになった先の与信額。

# 債務者区分の遷移状況(平成25年9月末⇒平成26年9月末)

## (1)山口銀行

(億円)

			26年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
25年9月末	正常先	23,567	22,274	538	4	0	0	-	750	
	要注意先	その他	4,154	678	3,138	32	9	3	7	284
		要管理先	156	3	7	141	1	-	-	1
	破綻懸念先	396	0	28	0	332	16	12	5	
	実質破綻先	79	-	-	-	0	67	4	6	
	破綻先	61	-	-	-	-	-	52	9	

ランクダウン632億円



ランクアップ719億円



## (2)もみじ銀行

(億円)

			26年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
25年9月末	正常先	11,470	10,552	331	1	2	1	0	581	
	要注意先	その他	3,422	339	2,880	6	23	5	4	163
		要管理先	82	0	47	34	0	-	-	0
	破綻懸念先	220	0	7	-	143	59	0	8	
	実質破綻先	86	-	-	-	1	73	4	7	
	破綻先	126	-	0	-	-	-	107	18	

ランクダウン440億円



ランクアップ396億円



## (3)北九州銀行

(億円)

			26年9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
25年9月末	正常先	4,037	3,733	227	0	0	0	-	75	
	要注意先	その他	2,908	332	2,450	18	10	0	2	92
		要管理先	31	-	0	10	0	0	4	13
	破綻懸念先	87	-	2	0	59	19	3	2	
	実質破綻先	37	-	-	-	-	27	9	0	
	破綻先	57	-	-	-	-	-	52	4	

ランクダウン298億円



ランクアップ336億円

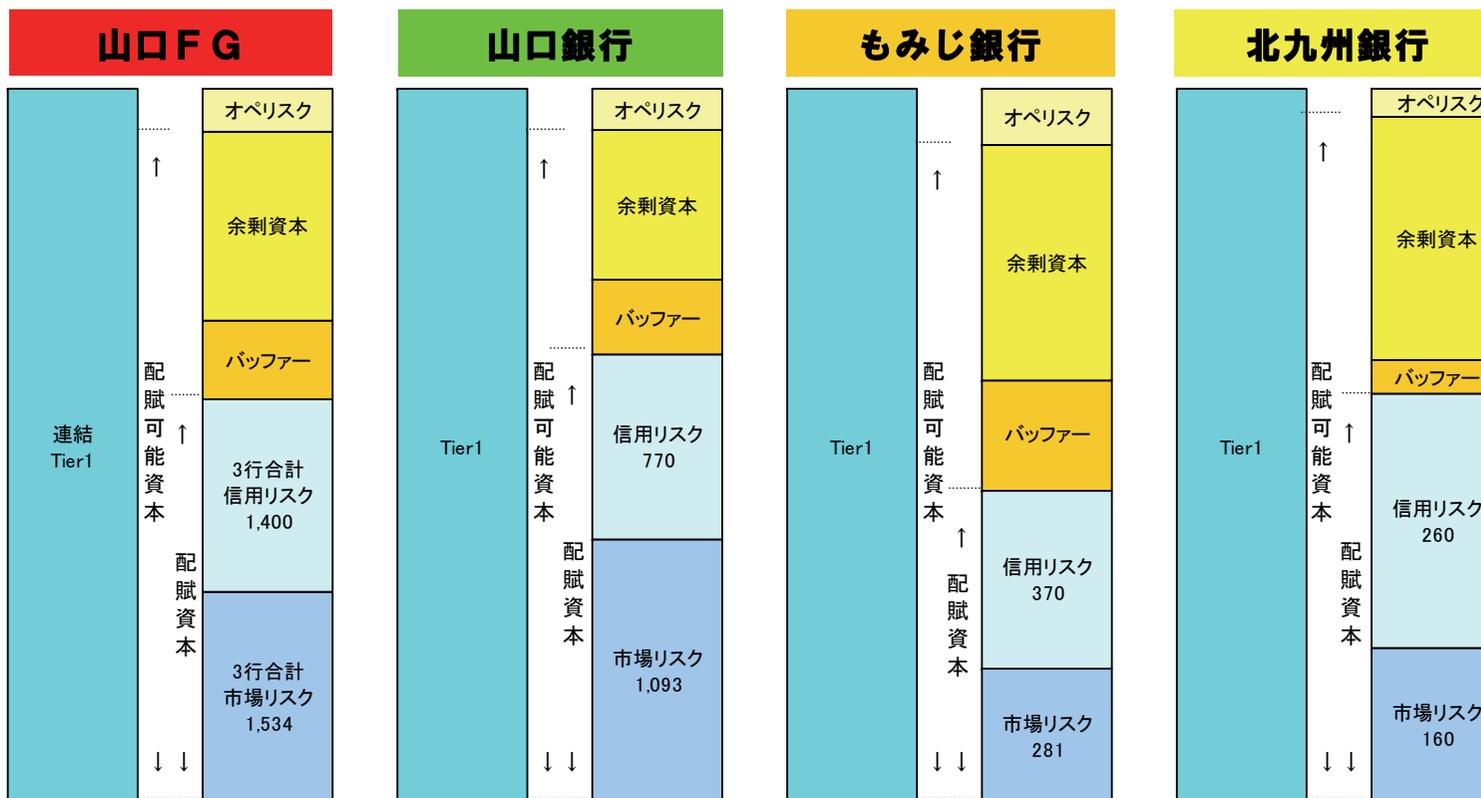


(注)

- 対象債務者は個人消費者以外。
- 前期末時点の債務者区分別与信額を当期末時点の債務者区分別に分類し、期中の与信額の増減は考慮しない。
- 「その他」は、全額回収・売却等により当期末時点において、残高がゼロになった先の与信額。

# リスク資本配賦

(単位:億円)



		山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行	3行合計
信用リスク	リスク量('14/9末)	617	278	185	1,080
	資本配賦額	770	370	260	1,400
	使用率	80.1%	75.1%	71.2%	
市場リスク	リスク量('14/9末)	667	186	108	961
	資本配賦額	1,093	281	160	1,534
	使用率	61.0%	66.2%	67.5%	

- ・FG連結Tier1を配賦原資とし、計画に沿って各行へ配賦する。
- ・Tier1 : 普通株式等Tier1+その他Tier1  
(グループ全体を統一的に管理するために、山口FG、および各銀行とも国際統一基準に基づきTier1を算出)
- ・バッファ : 想定以上の環境変化や計量できないリスクへの備え等

◆景気は緩やかに回復している。

生産	新型車の生産が開始され、自動車の稼働率が高めで推移。また、窯業・土石は、大震災の復興需要等から、高めの稼働率を維持し、化学、鉄鋼等の生産も堅調に推移するなど、生産活動全体としては底堅い状況にある。
設備投資	平成26年度の設備投資計画額は(山口経済研究所調べ)、大手化学メーカーが揃って投資額を増額するなど、全体でも3年ぶりに前年度を上回る見通し(前年度比+31.7%)となっている。
輸出	輸出額は、防府港の西欧、中東向け等の自動車が増加傾向で推移している一方、徳山港や宇部港のアジア向け有機化合物、下関港の半導体等製造装置等が減少する動きもみられる。
個人消費	消費税率引き上げの影響が緩和しつつあることから、大型小売店販売額等が持ち直しているものの、乗用車新車販売台数が前年割れとなるなど、一部に弱さがみられる。
公共工事	平成26年度累計の公共工事請負金額は、岩国飛行場関連を中心とする大型工事の増加もあって、国、県、市町からの発注がいずれも増加し、全体でも前年度を1割近く上回って12年ぶりの高水準となっている。
住宅建築	今年7-9月期の新設住宅着工戸数は、消費税増税の影響等から、持家が不振となっているほか、分譲マンションも大幅な前年割れを続け、全体でも3四半期連続の前年比マイナスと減少傾向にある。
雇用情勢	今年7-9月期の有効求人倍率は1.09倍と6年ぶりの高水準を維持し、製造業の所定外労働時間も前年を上回る水準で推移するなど、基調としては改善傾向となっている。
企業倒産	今年累計(1-9月)の倒産件数、負債総額はいずれも前年を下回っており、全体でみると小康状態が続いている。

◆景気は緩やかに回復している。

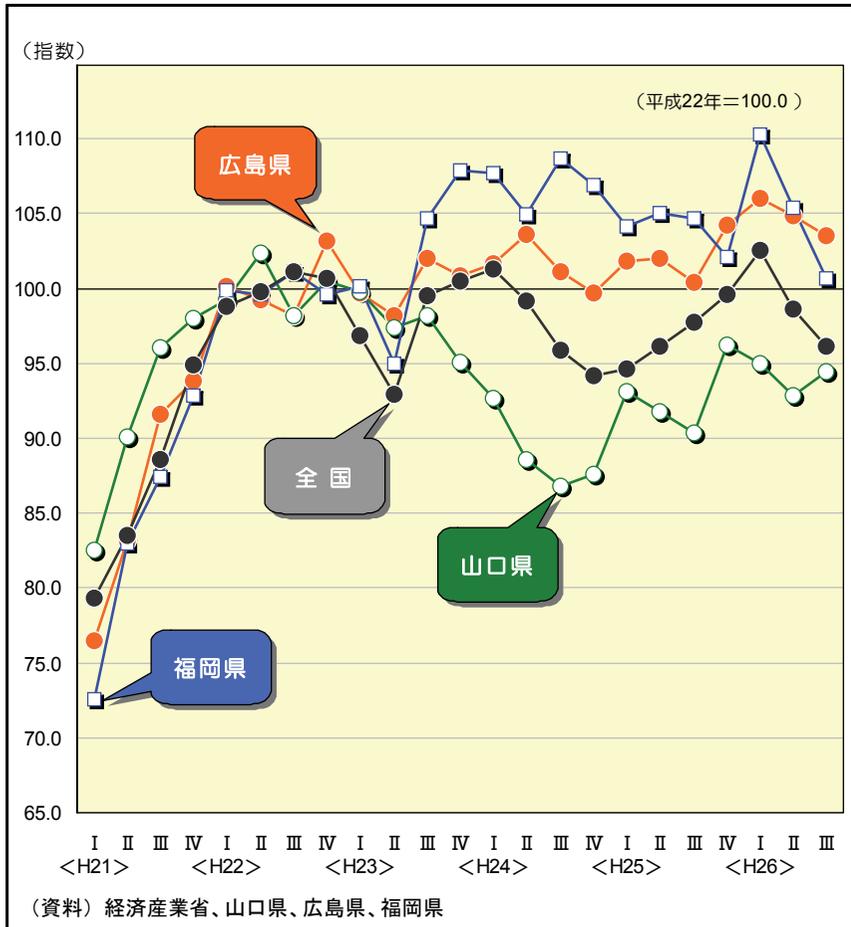
生産	輸出が好調なことから、自動車がフル操業を維持し、電気機械(スマートフォン向け部品等)や鉄鋼が高操業を続けるなど、全体でも緩やかな増加傾向となっている。
設備投資	平成26年度の設備投資計画額(日銀広島支店調べ)は、非製造業(前年度比▲4.6%)が前年割れとなる一方、製造業(同+32.6%)が大幅に前年を上回り、全体でも同10.1%増加と2年連続の前年比プラスとなっている。
輸出	一般機械を中心として増加傾向で推移している。
個人消費	消費税率引き上げの影響が続く乗用車販売は弱めで推移している一方、同影響が緩和していること等から、百貨店販売、家電量販店販売等が持ち直すなど、基調としては底堅い推移となっている。
公共工事	平成26年度累計の公共工事請負金額は、前年度比3.4%減少と前年を若干下回る水準となっている。但し、足元では8月の豪雨災害の復旧工事に伴い、建設業者の繁忙度が増しているとみられる。
住宅建築	今年7-9月期の着工戸数は前年比19.8%減少と三四半期連続で前年を下回っており、消費税率引き上げの影響によって持家を中心に減少傾向となっている。
雇用情勢	今年7-9月期の有効求人倍率は1.25倍で高水準にあるほか、雇用者所得も増加するなど、改善傾向を続けている。
企業倒産	倒産件数、負債総額ともに減少傾向となっている。

◆北九州地区の経済は、基調として緩やかに回復している。

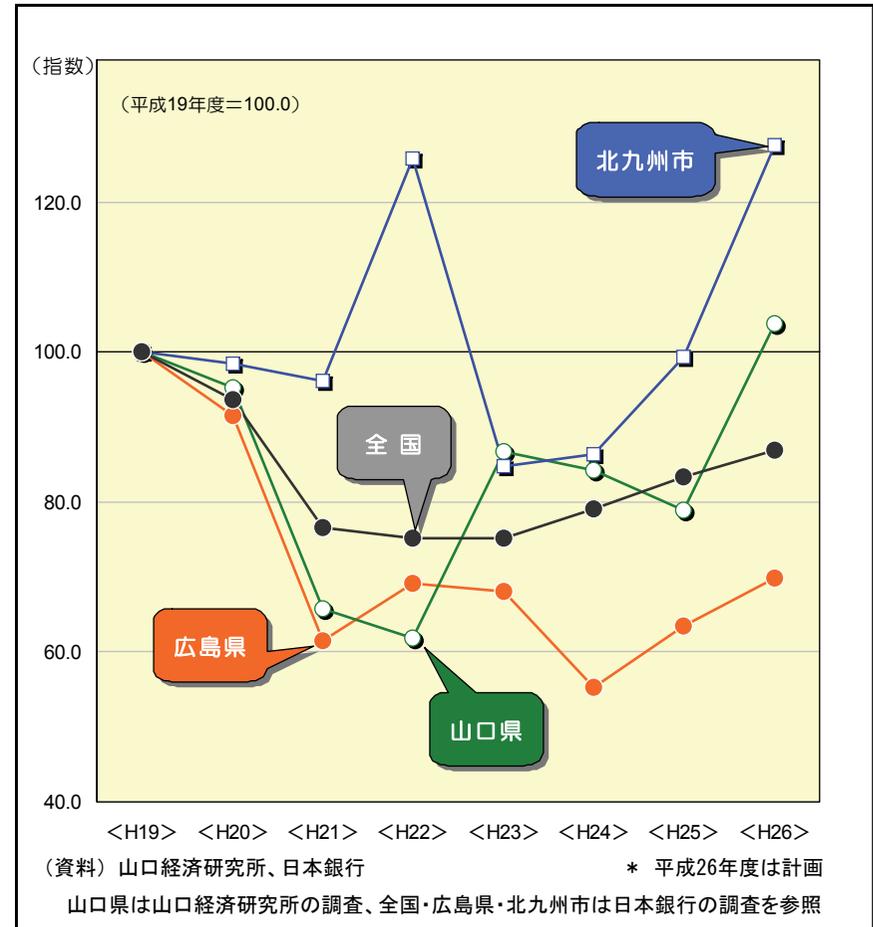
生産	自動車では一部車種における海外生産移管の影響で幾分減少しているものの、鉄鋼(高炉)、セメント、電気機械、電子部品では高水準の生産が続いており、全体としては高めの生産水準を維持している。
設備投資	収益が堅調に推移する中、先行きの需要増加を見込む先が多いことから、持ち直しが明確になっている。日本銀行北九州支店管内「短観」調査では、2014年度の設備投資額は、前年度に比べ製造業が46.2%増加、非製造業が4.3%増加し、全体では28.4%の増加となる見込み。
輸出	自動車の一部車種における海外生産移管の影響で、弱めの動きとなっている。
個人消費	消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が全体として和らぐなど、基調としては底堅く推移している。
公共工事	2014年度上期の公共工事請負額は前年比で8.0%減少したものの、高水準で推移している。
住宅建築	消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が引き続きみられていることから、弱めの動きとなっており、2014年度上期の新設住宅着工戸数は、前年比で23.3%減少した。
雇用情勢	緩やかに改善しており、2014年9月の有効求人倍率は1.00倍となっている。
企業倒産	2014年度上期の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、件数は前年と同水準であったが、負債総額は前年を上回った。

- ◆ 鉱工業生産指数は、主要産業の生産が底固く推移。
- ◆ 設備投資額(平成26年度)は、山口県(前年度比+31.7%)が3年振りのプラス、広島県(同+10.1%)は2年連続のプラス、北九州市(同+28.4%)は3年連続のプラス。

## 工鉱工業生産指数の推移

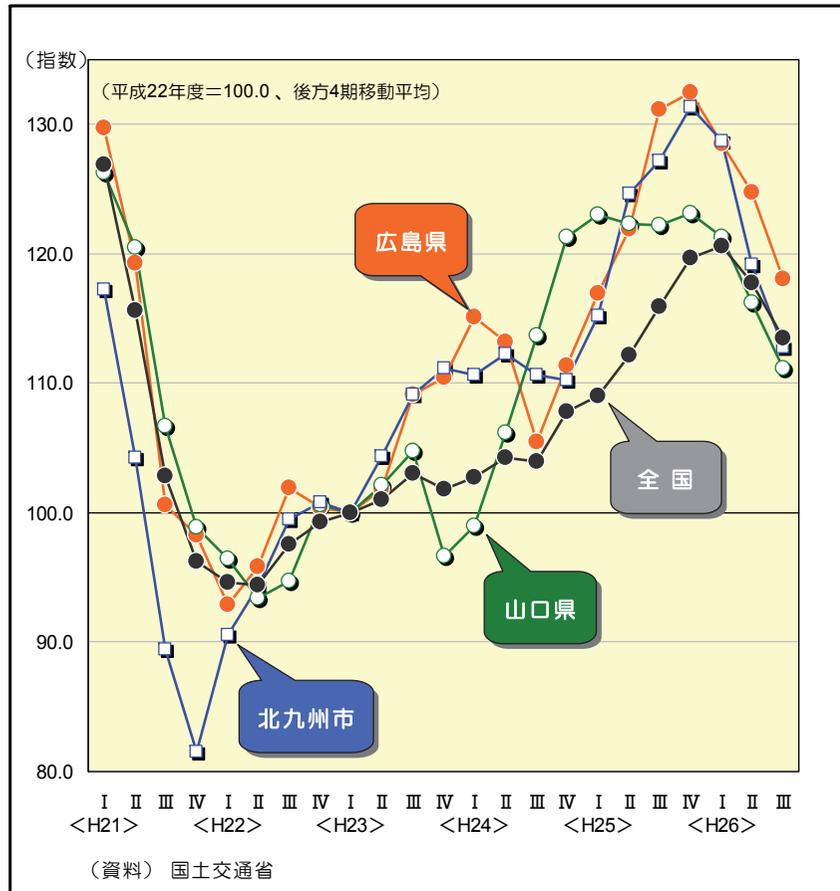


## 設備投資額の推移

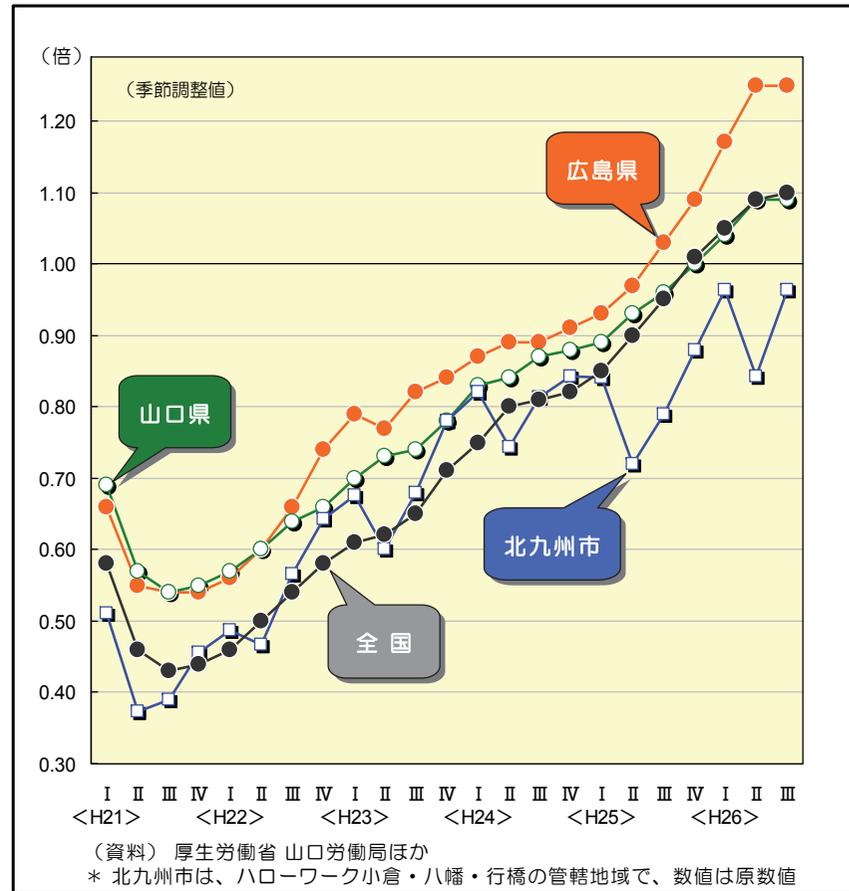


- ◆住宅着工戸数は、消費税増税の影響から、減少傾向で推移。
- ◆雇用情勢は、有効求人倍率が高水準を維持するなど、基調として改善傾向。

## 新設住宅着工戸数の推移



## 有効求人倍率の推移



本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意下さい。

【 本日の会社説明会に関するご照会先 】

株式会社 山口フィナンシャルグループ

総合企画部 久 保

カスタマーコミュニケーション部 平 中

TEL 083-223-7120

FAX 083-233-5850

<http://www.ymfg.co.jp/>